SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

メキシコ,ユカタン・マヤの雨乞い儀礼(二)

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 静岡大学人文学部
	公開日: 2015-07-06
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 吉田, 栄人
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00008906

メキシコ，ユカタン・マヤの雨乞い儀礼（二）

吉　田　栄　人

4　オシュクツカブ村サント・ドミンゴ果樹園の事例

4.1　サント・ドミンゴ果樹園の概要

次に紹介するチャ•チャーク儀礼は1995年9月6日水曜日に、オシュクツカブ町から西方に20 kmほど離れた、プーク丘陵の中ほどに位置するサント・ドミンゴ・デ・ルナ・カン（Santo Domingo de Luna Kan）農園（以下、本稿ではサント・ドミンゴ果樹園と呼ぶ。なお、この果樹園の所有者たちは一般にparcela〔分譲地〕と呼んでいる）で行なわれたものである。

ユカタン州南部は北部に比べて表土層が厚く、また降水量も若干多い。それゆえ農耕に関しては北部より多少は有利な条件にあると言える。しかし、一方で地下水脈が深く[28]、生活用水を確保することが困難であるため、集落は北部ほどには発達してこなかった。南部の集落のほとんどは水を得ることが容易なプーク丘陵の麓に集中している。

こういった集落の周辺ではこの相対的に肥沃な土壌を利用して野菜や果樹の栽培を中心とする農園（huerta）が植民地時代より発達してきた。20世紀に入り地下水の汲み上げによる灌漑施設の導入が始まると、オレンジやレモンを中心とする果樹栽培が盛んに行なわれるようになる。特に1960年代からは国家政策として柑橘類栽培を目的とした「チャーク・プラン」によって、灌漑設備を持った農園が多数造成されてきた。サント・ドミンゴ果樹園もそうした灌漑農地の一つである。現在そこで栽培されている作物はオレンジなどの柑橘類が主であるが、マンゴやパパイヤ、バナナといった果物、さらには食用染料となるベニノキなども多く見られる。

灌漑用の水は電動モーターで汲み上げねばならないため、使えば使うだけ費用がかさむことになる。さらに、モーターのメンテナンスにも経費がかかるため、灌漑は常に必要な量を行なえるとは限らない。むしろ、収益率との兼合いで抑制的に利用されているのが現状である。これはサント・ドミンゴ果樹園に

限ったことではなく、地下水汲み上げ式の灌漑施設を持った農地に共通に言えることである。つまり、灌漑施設を備えた農地であっても、ユカタンの農業の現状では、農民は水確保の問題から完全に自由であるわけではないことを理解しておかねばならない。

サント・ドミンゴ果樹園は35の区画に分割され、サント・ドミンゴ果樹園組合のメンバーに1区画ずつ割り当てられている。この組合のメンバーはほとんどがコオペラティバ Cooperativa 村（オシュクツカブ町のコミサリア）の住民であるが、オシュクツカブ町の住民が2名入っている。その内の一人がチャ・チャーク儀礼を行なったフ・メン本人である。35人の組合員のうち15人はプロテスタントであるため、チャ・チャーク儀礼には参加しなかった。参加したのは残りの20人とその家族である。組合員は費用の分担金として20ペソ、さらに鶏ないしは七面鳥1羽、トウモロコシ6 kgの供出が求められた。ただし、これは目安として設定されたものであり、実際に供出されたものは各人の経済状態によって異なっていた。

4.2　儀礼の過程

儀礼の場

果樹園の中ほどに集会用のブロック造りの小屋が建てられた更地があり、チャ・チャーク儀礼はそこで行なわれた。この敷地は北と西の2辺が道路に面している上、儀礼参加者の言葉を引用すれば、「儀礼のために」わざわざ雑草や雑木が切り払われていた。果樹園を貫く幹線道路から5 mほど入ったところに建てられた集会場の後方に休憩用の掘っ建て小屋があり、さらにその後ろに道路から隠れるような形で祭壇が用意された。ただし、この祭壇は灌漑用ポンプにつながる北側の道路からは丸見えであった。

儀礼ではこの敷地の他に、南側に隣接する果樹園と西側の道路を挟んだ別の更地も利用された。マサをピブの形にしてバナナの葉っぱで包む作業が果樹園の木陰で行われ、またこのピブを焼くための穴が道路向かいの更地に掘られたのである。

この儀礼の場所まではコオペラティーバ村から車で20分位を要する。ピブやサカに用いるトウモロコシはコオペラティーバ村のトルティージャ屋でマサに挽いてもらい、すべてまとめて儀礼の場に運ばれる。それゆえ、この儀礼の場所でトウモロコシをゆでたり、別の場所で女性がトルティージャを作って持ってくる必要はない。そのためか、儀礼の場には女性も多数やってきて供物の調

理を手伝った。ただし、女性が掘っ建て小屋から先に入ることは一部の例外を除いてなかった。例外とは、数名の少女とコオペラティーバ村などから「料理祭壇」の祈禱を見物しにやってきた部外者の女性観客である。いずれにせよ、部外者の目から祭壇を隠すための障害物をほとんど取り払ってしまったような状態で、観客の中から女性だけを排除することはあまり意味がない。少なくとも、そうした目的で観客が整理されることはなかった。しかし一方で、少女たちを除く儀礼参加者としての女性たちは、祭壇付近の様子を盗み見しようと思えばいくらでもできるにもかかわらず、実際に目に入っていても見ない振りをしている様子であった。

伝統的なチャ・チャークは通常は日常的な要素が入り込まないような形で実施される。そのため、儀礼の場は人目の付かない村外れの林などが選ばれるのが普通である。ところが、サント・ドミンゴ果樹園で行なわれたチャ・チャークでは、様々な日常的要素が儀礼的空間に侵入してくることを禁止するような措置は一切取られていない。そこには、今まで一度も報告されたことのないいくつかの日常の要素が観察された。たとえば、儀礼の最後に行なわれる「料理祭壇」には、祈禱のパフォーマンスを見るためにたくさんの見物人が訪れた。その見物客の中にはオシュクツカブ町長と州警察特別機動隊の姿もあった。オシュクツカブ町長の来訪はフ・メンの個人的な招待によるものであった[29]。さらに、こうしたたくさんの見物客を当て込んでアイス・キャンディ売りまでやってきた。アイス・キャンディ売りは供物の準備段階から不意にやってきて、町中と同じように鐘を叩いて客を集めた。最初は遠慮がちに道路で売っていたが、終いには掘っ建て小屋の近くまで荷車を押して入り、アイス・キャンディを売っていた。実際に彼からアイス・キャンディを買ったのは見物人だけに限らない。儀礼参加者が連れてきた子供たちもアイス・キャンディを買っていた。

こうした日常的な要素の侵入は、元々伝統的なチャ・チャークにおいて儀礼性の価値規範を侵犯ものとして禁止されていたわけではない。単に、想定されていなかっただけのものだろう。どちらにしても、こうした日常性の介入を、サント・ドミンゴ果樹園の人々が反儀礼的なものとして排除していないことは注目に値する。

儀礼水

チャ・チャーク儀礼当日の朝7時、筆者はフ・メンとともにサント・ドミンゴ果樹園に向かった。途中、コオペラティーバ村のトルティージャ屋でサカ用

のマサを受け取り、8時頃、儀礼が行なわれる場所に着いた。儀礼会場には他にまだ誰も着いていなかった。この時点で、高さ1.2m、幅・奥行き1.5mほどの祭壇がすでに作ってあり、十字架とサカを供えてすぐに祈禱が始められるような状態になっていた。また、道路向いにはピブ料理に用いられる幅1m長さ10m程の穴もすでに掘ってあった。

写真4　「水祭壇」

しばらくして数名の男性がやってくると、フ・メンは彼らとともに作業を開始した。まず、祭壇の東側奥中央に十字架を1本立て、その手前に火を点したろうそく3本を置いた。また、祭壇東面の柱3本の根元にもそれぞれ1本ずつろうそくを立てた。次にサカの準備に入る。マサを溶く水には、掘っ建て小屋の軒下に置かれたドラム缶に溜めてあった雨水が用いられた。フ・メンの話しでは、オシュクツカブ近辺にはセノーテがないため、昔から雨水が利用されているという。ところが、チャ・チャークの儀礼用に特別に用意されたわけでもないこのドラム缶には3分の1程しか水が入っておらず、儀礼に必要な水の総量には明らかに足りない。足りなくなったらどうするのだと尋ねると、道路向かいにある湿地の水溜まり（ojo de agua）から汲んでくるのだと言う。いずれにせよ、儀礼で用いられる水はフ・メンの説明では「雨水」でなければならない。

残りの参加者たちが到着すると、「水祭壇」の祈禱が始められる[30]。それが済むと、祭壇の飾り付けが行なわれる。ヤシの枝4本を祭壇の四隅の柱に括り付け、先端を祭壇の上で交差させてアーチを作る。このアーチに使う木は本当はヤシよりもハビンの方がいい、しかし、近くにハビンの木がないのでヤシの枝で代用しているのだ、とフ・メンは説明した。祭壇の東・南・北の3辺（すなわちフ・メンが跪く辺を除く祭壇の周囲）にはこのアーチに棒を渡し、その横棒に全部で12個のチュユブが吊された。本来はさらにもう1個をアーチの中央

に吊すべきだが、今回はアーチが高すぎて届かないという理由で代わりに祭壇の真ん中に置かれた[31]。

写真5　ピム作り

写真6　ピブ用地炉

供物

儀礼参加者はチャ・チャーク会場に到着すると、まず掘っ建て小屋の前で分担金の支払いと提供品の申告を行う。参加者の中の男性一人が申告者の名前と提供品をノートに記録する[32]。「水祭壇」の祈禱の後、参加者全員（女性を含む）にサカが配られると、供物の調理が始められる。男性の多くは祭壇の飾り付けとピブ料理の地炉の準備（薪と石運び）に回るため、調理は残った数名の男性と女性の仕事となる。

「料理祭壇」用の供物として用意されたものは、3種類のピブ、そのピブの内の1つを砕いてトリ・スープに混ぜたヤチ *yach'*、そしてトリ・スープにトウモロコシのマサを直接混ぜたコル *k'ol*（スペイン語でソパ sopa と呼ばれる）、トリの水煮であった。トリの水煮の調理法はティムクイ村の場合とほとんど同じだったので、詳細はここでは省略する。ただ、コルに関しては加えられる薬味が若干異なっていた。ティムクイ村の場合、塩とアチオテだけの非常にシンプルな味付けだったが、サント・ドミンゴではその他に、セボジーナ、ハッカ草、トマト、にんにく、玉ねぎの微塵切りや胡椒が加えられた。

ピブの調理については女性はある時点までしか参加していないので、ピブ作りについて詳しく説明しておこう。ピブを包むためのバナナの葉をあぶったりエネケンの葉を割いて紐にしたりする下準備を除けば、ピブ調理には大きく分けて三つのプロセスがある。まず第1に、トウモロコシのマサからトルティージャ状のバセ base を作る作業、次にこのバセを重ね合わせバナナの葉に包む作業、そして最後に地炉に入れて焼く作業である。第1の作業は女性たちが掘っ建て小屋の中で行なった。コオペラティバ村のトルティージャ屋で挽いてもらったトウモロコシのマサをこねた後、ついたばかりの餅を丸めるようにちぎって直径 20 cm 程の分厚いバセにして、1枚ずつバナナの葉に乗せていく。

このバセは掘っ建て小屋から 10 m 程離れた果樹園の木陰に運ばれる。この運搬の作業は男女の性を問わないが、これ以後の作業に女性は一切加わらない。男たちは果樹園の適当な場所に二人組みになって座り、直径 20 cm 程の大きさのピム *pim*（ピブ *pib* はこのピムを焼いたもの、ないしは調理されたその状態を意味する）を作る。一人がバナナの葉の上でバセを重ねていき、もう一人がバセの表面にカボチャのペーストを塗る。重ねるバセは最初の一つだけが 13 枚で、残りのピムはすべて 12 枚であった。一番上のバセにはペーストは塗らない。その代わりにバセの中程に指で 4 つの穴を開け、バルチェを流し込む。最後に、カボチャの種をすり潰した粉で穴をふさぎ、全体をバナナの葉で包みエネケンの紐で結ぶ。

用意するピムの数は、参加者が供出した分に応じて儀礼終了後にピブを参加者に配らねばならないので、その分量を考慮してフ・メンが決定する。必要数ができあがると、残りのマサに女性たちが直接カボチャのペーストを混ぜる。このカボチャ入りのマサから、男性が今度は小さくちぎって 5 cm ほどの棒状に丸めたチン *chin*、ピムと同じ形に丸めたチョコー *chok'ob* を作る。

こうして出来上がったピム類はまとめて地炉まで運ばれる。地炉の石を暖めるために地炉の中の石の上に積まれていた木が大方燃え尽きると、燃えさしを取り除き、石を平坦にならしてから石の上に直接ピム類が並べられる。そしてバナナの葉などで覆い、土を被せて地炉に蓋をする。2時間ほどして掘り出されたピブは、バセ 13 枚のものがすぐに祭壇に供えられる。それから残りをまとめてトラックで祭壇の前まで運ぶ。トラックから降ろされたピブはその場ですべてバナナの葉の皮がむかれる。祭壇に 20 個ほどを供えると、残りは参加者への配布用に別のテーブルに取り分けておく。また、チョコーは崩して、女性が別に用意したトリの水煮から取ったスープと混ぜてヤチにする。

儀礼的演出

サント・ドミンゴ果樹園の「料理祭壇」の祈禱では、伝統的なチャ・チャークで報告されてきた雨神チャークを演じる男性とカエルの鳴き声を真似る子供たちの姿があった。チャーク役の男性[33]は全部で4人。祭壇の後方(東側)5m位のところに、更地から取り除いた岩がうず高く積んであるが、その下に、水を張りヒーカラを浮かべたバケツを持ったかしら役が一人、岩の上に一人がそれぞれ座る。そして、そこから5mほど離れた茂みの中に別の二人が身を隠す。かしらはフ・メンの祈禱の間中ずっとバケツのヒーカラを棒で叩き続ける。残りの3人はヒューヒューといった擬音を発しながら石や棒を東の方角へ投げる。

写真7　カエルの鳴きまねをする子供たち

カエル役の子供は全部で5人であった。供物の準備が整うと、フ・メンの助手役とは別の、参加者の中の一人がカエル役をする子供たちを選び祭壇の下に座らせた。そして、各自にそれぞれの鳴き方を教え練習を行なった。5匹のカエルは、*wo muuch*、becerro *muuch*、*itsab*、*lek muuch*、*tsuché muuch*、carrilloと呼ばれ、それぞれ「ウォー」、「メエー」、「イム」、「レク」、「エーチ」、「ルルルー」と鳴く。この子供たちのカエル鳴きパフォーマンスは、フ・メンが祈禱を唱えている間中途切れることなく行なわれた。

サント・ドミンゴ果樹園の「料理祭壇」の祈禱は、以上のような儀礼的演出の点から見ると、ティムクイ村の場合よりもはるかに伝統的であると言えよう。しかし、先にも述べたとおり、サント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャークは儀礼そのものがかなり世俗的な面を持っている。まず、儀礼は藪の中という人目に付きにくい場所ではなく、外的世界に対して開かれた場所で行なわれている。しかも、外的世界に対して単にオープンであるだけでなく、儀礼関係者以外の観客を招待さえしている。こうした観客の中には女性も含まれるし、またチャークの真似をして口笛を吹いたり石を投げたりする者さえいる。フ・メンが唱え

る祈禱はこれらの観客の放つざわめきに掻き消されてしまいがちである。「もっと大きな声で」という監督者の指示の下に子供たちが精一杯発するカエルの鳴き声だけがこの俗なる雑音を突き破り、果樹園にこだました。

4.3 祈禱

サント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャークでは朝の「水祭壇」と「料理祭壇」の2回の祈禱が行なわれた。本来ならば、正午にもう1度「水祭壇」を行なうはずだったが省略したとフ・メンは筆者に後で説明してくれた。筆者は実際に行なわれたこれら2回の祈禱を録音した。しかしながら、2回目の祈禱の録音はテープレコーダーの置かれた祭壇の真下に座る子供たちのカエルの鳴きまねの音量が大きかったため、フ・メンの祈禱を聞き取るのは非常に困難なものになっていた。また、フ・メンは祈禱の後半部を祭壇の前だけでなく祭壇の両脇でも行なうため、この部分の祈禱はほとんど入っていなかった。こうした事情から、筆者は後日フ・メンの家を訪れ、彼の仕事場でチャ・チャークの祈禱を再現してもらった。本稿で紹介する「料理祭壇」の祈禱はこの再現された祈禱からテープ起こししたものである。

4.3.1 「水祭壇」の祈禱（原文）[34]

1. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*./

2. Señor* mío*, Jesucristo* Dios* y* hombre*, verdadero* Creador*, Redentor* mío*, por* ser* vos* quien* soy*, porque* amo* sobre* todas* las* cosas*./ 3. A* mí* me* pesa*, pésame* señor, de* todo* corazón* de* haberlos* ofendido*. 4. Propongo* firmemente* enmendarme* confesarme*. 5. Hace* tiempo*/ andisiere(?) satisfacción* en* vuestra* divina* bondad*, misericordia* infinita*. 6. Me* los* perdonarás* por* vuestra* preciosísima* sangre*./ 7. Me* darás* gracia* para* nunca* más* pecar* y* perseverante* vuestro* santo* amor* y* servicio* hasta* el* fin* de* mi* vida*. Amén*./ 8. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*. 9. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./

10. Buenos* días*, yuumtsile'ex. 11. Kin t'aanik bakaan, Dios* Padre*, Dios* Hijo, Dios* Espíritu* Santo*. 12. Ikil in xolampixtik bakaan tu chúunuk ka'an-che' yuu(m a)h-kanan-káakabo'ob bakaane', in yuumen./ 13. Ikil in t'aanik bakaan tuláaka(l) santos*o'ob, tuláaka(l) yuum iik'o'ob,

iik'ali(l) bakaan (h)un p'ée(l) santo* lugar* tu chúumuk bakaan u lu'umi(l) ti' Santo* Domingo* bakaane', Padre* mío*./ 14. Le kin k'áatik bakaan te'ex (l)e bendición*, 15. le kin k'áatik (l)e salvación*, 16. le kin xolampixtik bakaan, 17. utia'al in wok'ol k'áatik bakaan (h)un p'ée(l) santo* xunáan ha' bakaane', in yuumen./

18. Kin t'aanik bakaan tu k'aaba' tuláaka(l) santos*o'ob, tu k'aaba' tuláaka(l) yuum iik'o'obe'. 19. Le kin xolampixtik, 20. le kin paya(l) t'aan, 21. tik le kin wok'ol k'áatik, 22. le kin k'áatik (l)e bendición* bakaana', in yuumen./ 23. Ti' bakaan treinta* y* cuatro* hermanos*o'ob bakaan k ki' xi'imbal to' to'on u bo'oye(l) santo* lu'um bakaana', Padre* mío*. 24. Tech bakaan bin a ki' si'ihteen (l)e santo* bendición*a', in yuumen./

25. Kin k'úubik bakaan (h)un p'ée(l) santo* xunáan sakab. 26. Kin t'aanik bakaan tio'lal (h)un p'ée(l) santo* ch'íich'. 27. Kin k'uubikte'ex tu chúunuk ka'an-che' yuu(m a)h-kanan-káakabo', 28. ikil in k'áatik (l)e bendición*a', in yuumen./ 29. Gloria* al* Padre*, gloria* al* Hijo*, gloria* del* Espíritu* Santo*. 30. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./ 31. Dios* Yuumbil, Dios* Mehenbil, Dios* Espíritu* Santo*./ 32. Utia'a(l) bakaan in xolampixtik bakaan u chúunuk ka'an-che' yuu(m a)h kanan-káakabo'obe', in yuumen./ 33. Kin k'úubikte'ex bakaan (l)e santo* sakab, 34. ikil in k'áatik bakaan (l)e bendición*, ikil in k'áatik (l)e salvación*.

35. Kin xolampixtik, ikil in t'aanik bakaane', xki'ichpam ko'olebi(l) tu kaahi(l) Mamita*./ 36. Kin t'aanke'ex xki'ichpam ko'olebi(l) Asunción*, xki'ichpam ko'olebi(l) Estrella*. 37. Kin t'aanik ti' yuum San* Bernardino*. 38. Kin t'aanik yuum San* Bernardo*. 39. Kin t'aanik yuum San* Vicente* caballero*, San* Martín* caballero*, San* Eustaquio* Buenaventura*,/ San* Lorenzo*. 40. Kin t'aanik bakaan xan yáalma t'aan Padre* Eterno*, ti' Cuarenta* Horas*. 41. Kin xolampixtik ti' Divino* Redentor* del* Mundo*./ 42. Kin t'aanik bakaan señor* San* José* de* las* montañas*. 43. Kin t'aankeech bakaane', Padre* mío*./ 44. Teech bakaan bin a ki' si'ihto'on (l)e santo* bendición*, 45. ikil in xolampixtik bakaan behla' tu k'iin (h)un p'ée(l) santo* miércoles*, 46. ikil in k'áatik (h)un p'ée(l) salvación*, 47. ikil in k'áatik bendición* bakaana', in yuumen./

48. Kin t'aanik bakaan tuláaka(l) yuum iik'o'ob, he'e kaantik bakaan tu kan ti'its tu ka'an yali' múuyal, ti' lak'in iik'o'ob, ti' xaman iik'o'ob,/ chikin iik'o'ob. 49. Kin t'aanik bakaan, ikil in xolampixtik bakaan tu chúunuk ka'an-che' yuu(m a)h-kanan-kaakabo'ob, 50. tu'ux kin t'aanik lak'in iik', xaman iik', chiik'in iik', nohol iik'o'obe', in yuumen./ 51. K nuuk t'aantik to'on bakaan tu chuúmuk bakaan lu'um ka'an xki'ichpam ko'olebi(l) Santa* María*./ 52. Kin t'aanik bakaan yuum santísimo* Sacramento*. 53. Kin t'aanik bakaan Niñito* Jesús*. 54. Kin t'aanik bakaan ti' Cabeza* Coronado*,/ ti' San* Miguel* Arcangel*, ti' Rogararemos*, ti' Cuarenta* Horas*, 55. ikil in rogar*tik bakaan (l)e bendición*, 56. ikil in rogar*(ti)k (l)e salvación*, kin t'aanik bakaana', in yuumen./ 57. Gloria* al* Padre*, gloria* al* Hijo*, gloria* del* Espíritu* Santo*. 58. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./ 59. Tu k'aaba' Mehenbil, tu k'aaba' Nukuchbil, tu k'aaba' Espíritu* Santo*.

60. Binen, in yuumen. 61. Ti' kin k'áatik bakaan (l)e suhuy bendición*, 62. ikil in t'aanik San* Francsico*, San* Isidro*, San* Antonio*./ 63. Kin t'aanik San* Juan*, San* Pedro*, San* Pablo*. 64. Kin t'aanik Gaspar*, Melchor* y* Baltazar*, Santiaguito* Patrón*, Santiaguito* Apóstol*,/ Santiaguito* Halachó*.

65. Kin t'aankeech bakaane', in yuumen, 66. ikil in hala' t'aantik bakaan tu hala' chi' bin (h)un p'ée(l) santo* ka'an-che' bakaane', in yuumen./ 67. Le bakaan tu'ux kin k'uubik bakaan (l)e sakab, 68. ti' kin k'úubik bakaane' santo* kib bakaan, 69. ikil in xolampixtik, ikil in k'aatik (l)e salvación* bakaana', in yuumen./

70. Kin t'aanik bakaan tuláaka(l) santos*o'obe'. 71. Kin t'aanik San* Ignacio*. 72. Kin t'aanik bakaan Niñito* Jesús*. 73. Kin t'aanik bakaan ti' Cabeza* Coronado*,/ ti' San* Miguel* Arcangel*, ti' Rogararemos*, ti' Cuarenta* Horas*. 74. Kin t'aanik ti' Santos* Mateas*, ti' Cuarenta* Horas*. 75. Kin t'aanik bakaan yuum Gran* Poder* de* Dios*,/ Angel* San* Grabiel*, San* Miguel* Arcangel*, San* Rafael* Buenaventura*,/ San* Lorenzo*. 76. Kin t'aankeech bakaane', Padre* mío*. 77. Teech bakaan bin a ki' si'ihto'on (l)e santo* bendición*a', in yuumen./ 78. Tu k'aaba' bakaan tuláaka(l) santos*o'ob, tu k'aaba' tuláaka(l) yuum iik'o'ob,

tu k'aaba' Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*. 79. Gloria* al* Padre*, gloria* al* Hijo*,/ gloria* del* Espíritu* Santo*. 80. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./ 81. Dios* Yuumbil, Dios* Mehenbil, Dios* Espíritu* Santo*./

82. Utia'a(l) bakaan in xolampixtik bakaan (l)e bendición*, 83. kin t'aanik bakaan ti' treinta* y* cuatro* hermanos*o'oba', in yuumen./ 84. Teech bakaan bin a ki' si'ihteen (l)e bendición*. 85. Utia'a(l) bakaan ki' luusik bakaan iik'alilo'ob cruz* ku ch'iibalilo'ob bakaan, 86. utia'a(l) k t'aanik tuláaka(l) yuum iik'o'obe', Padre* mío*./ 87. Teech bakaan bin a ki' si'ihto'on (l)e suhuy bendición*. 88. Kin t'aanik tuláaka(l) santos*o'ob yéete(l) tuláaka(l) yuum iik'o'obe'. 89. Kin t'aanik bakaan x'ki'ichpam ko'olebi(l) Santa* Trinidad*,/ Santa* Ma(g)dalena*, Santa* Isabel*, Santa* Marta*, Santa* Rita*, Santa* Librada*./ 90. Kin t'aanik bakaan Señor* de* la* Salud*, Señor* de* las* Lluvias*. 91. Kin t'aanik bakaan (l)e xkilin-ch'aako'ob bakaan tu kan ti'its tu ka'an yali' muuyal./

92. Kin t'aanik bakaan (l)e x-aal-k'ab-muuyal-iik'obo'ob, le x-tikin, x-kilin-ch'aako'ob, le x-aal-k'ab-nok'ol-yoobo'ob, le x-yaax-ka'an-iik'obo'ob bakaan./ 93. Le x-kilin-ch'aako'ob bakaan, kin t'aanik tu kan ti'its tu ka'an yali' muuyal, 94. ikil in k'úubik bakaan (h)un p'ée(l) santo* sakab, 95. utia'a(l) bin ke xii(m)biin las* tres* horas* cuatro* de* la* tarde*, in yuumen./ 96. Ka'anak in bakaana', ki' si'ike'exto'on (l)e bendición* tio'le santo* xunaan ha' k k'aatik bakaana', Padre* mío*./ 97. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*./ 98. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. 99. Tu k'aaba' Meehenbil, tu k'aaba' Nukuchbil, tu k'aaba' Espíritu* Santo*./

100. Kin t'aanik bakaan tuláaka(l) santos*o'obe'. 101. Kin t'aanik bakaan xki'ichpam ko'olebi(l) Dolores*./ 102. Kin t'aanik bakaan señor* San* Román*. 103. Kin t'aanik Sagrado* Corazón de* Jesús*. 104. Kin t'aanik Sagrado* Corazón* de* María*./ 105. Kin t'aanik bakaan señor* Santísimo* Sacramento*. 106. Kin t'aanik bakaan xki'ichpam ko'olebi(l) Guadalupe*, Santa* María* de* Guadalupe*, esperanza* nuestra*./ 107. Salva* nuestra* patria*, conserva* nuestra* fe*./ 108. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*./ 109. Dios* por* todos* los*

siglos* de* los* siglos*. 110. Dios* Yuumbil, Dios* Meehenbil, Dios* Espíritu* Santo*./

111. Utia'a(l) bakaan k k'aatik bakaan (l)e bendición* bakaana', Padre* mío*, ti' xki'ichpam ko'olebi(l) Santa* María*./ 112. Kin k'uubik cuenta* yéete(l) ti' yuum Santísimo* Sacramento*. 113. Kin xolampixtik bakaan tu chúunuk ka'an-che' yuu(m a)h-kanan-kaakabo'ob yéete(l) tuláaka(l) yuum iik'o'obe', in yuumen./ 114. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*. 115. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./

116. Kin t'aanik bakaan yéete(l) tuláaka(l) yuum iik'o'ob bakaan ti' lak'in iik'o'ob, ti' xaman iik'o'ob, chik'in iik'o'ob, nohol iik'o'ob bakaan./ 117. Kin t'aanik bakaan ti' lak'in bakaan, 118. tu'ux kin t'aanik yuu(m a)h-kanan-kaakabo'ob bakaane', Padre* mío*./ 119. Yuu(m a)h-kanan-kaakabo'ob, (l)e kin t'aanik bakaan, 120. iki(l) k'aatik (l)e bendición*, 121. iki(l) k'aatik (l)e salvación* bakaana', in yuumen./

122. Kin t'aanik bakaan ti' xaman iik'o'ob, ti' xmoson-iik'o'ob, ti' xsuhuy-iik'o'obe', kanan-áaktun-iik'o'ob./ 123. Le otoch-muul iik'o'ob, kanan-bee(l)-iik'o'ob, kanan-k'áaxo'obo', kanan-corralo'obo', le kanan-bee(l)-iik'o'ob bakaane', in yuumen./ 124. Le x-aal-k'ab-muuyal-iik'o'ob, kin t'aanik bakaan tu kan ti'its tu ka'an yali' múuyal./

125. Kin t'aanik bakaan ti' yuum chik'in iik'o'obe', ti' alux-iik'o'obe', ti' le báalam-iik'o'obo',/ 126. le baatan-iik'o'ob, ooxol-iik'ilo'ob bakaan ku ki' ooxolankilo'ob bakaane', in yuumen./ 127. Ma' bakaan tu ki' si'ibito'on (l)e santo* xunáan ha' bakaana', Padre* mío*./ 128. Teech bakaan bin a ki' si'ihto'on (l)e santo* bendición*a', in yuumen, 129. tu k'aaba' tuláaka(l) santos*o'ob, tu k'aaba' tuláaka(l) yuum iik'o'obe'.

130. Kin t'aanik ti' xnohol-iik'o'ob,/ ti' bakaan x-yáax-paal-iik'o'ob, x-chúumuk-paal-iik'o'obe', xt'uup-paal-iik'o'obe'. 131. Le kanan-hóoyabo'ob,/ le yuum ah-kanan-kaakabo'ob, le yuum xunáan-iik'o'ob, le yuum báalmo'ob bakaan, k t'aanik, 132. iki(l) k k'aatik (l)e bendición*a', in yuumen./ 133. Gloria* al* Padre*, gloria* al* Hijo*, gloria* del* Espíritu* Santo*./ 134. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./ 135. Dios* Yuumbil, Dios* Mehenbi(l), Dios* Espíritu* Santo*./

136. Utia'a(l) bakaan in xol(am)pixtik bakaan u hool gloria* xki'ichpam ko'olebi(l) Santa* María./ 137. Kin t'aanik bakaan yéete(l) tuláaka(l) santos'ob tuláaka(l) yuum iik'o'ob, 138. ikil in ki' xolampix(ti)k (l)e santo* sakab kin k'uubikte'exa', in yuumen./ 139. Utia'a(l) bakaan tuláaka(l) binen santo* lugar* bakaan ti', ti' bakaan treinta* y* cuatro* hermanos*o'obe', Padre* mío*. 140. Teech bin a ki' si'ihto'on (l)e santo* bendición*a', in yuumen./ 141. Tu k'aaba' bakaan Mehenbil, tu k'aaba' Nukuchbil, tu k'aaba' Espíritu* Santo*. 142. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*./ 143. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./

[Canto]
144. Ka'anak nah,/ (u) yotoch bin bakaan xan xunáan balam/, xunáan balam. 145. Kin t'aanik bakaan xan u xunáan bal(a)mi u ah-kanan-káakabi(l)./ 146. Kin t'aanik bakaan xan, in yuumen. 147. Kin xolampix-tik. 148. Kin payal t'aan ti' kin wok'ol t'aan, dik ti' bakaan xan lak'in iik'o'ob, xaman iik'o'ob,/ chik'in iik'o'ob, nohol iik'. 149. Kin t'aanik ba-kaan xan, in yuumen. 150. Kin t'aanik ti' lak'in iik'e', ti' x-kanan-kaakabo'ob,/ x-kanan-kaakab-iik'. 151. Kin t'aanik bakaan xan, in yuumen. 152. Kin xolampixtik bakaan ti' xaman iik'o'ob, xmoson-iik'o'ob, suhuy-iik',/ kanan-áaktuun-iik', otoch-múul-iik'o'ob, kanan-k'áaxe', xkanan-corral-iik'o'obe'. 153. Kin t'aanik bakaan xane', in yuumen./ 154. Ti' yuu(m a)h-chik'in-iik'o'ob, alux-iik'o'ob, balam-iik'o'ob, batan-iik'e', chi'iba(l)-iik'o'ob, ooxol-iik'o'obe'. 155. Kin t'aanik bakaan xan/ ti' yuum x-nohol-iik'o'ob, ti' x-yáax-paal-iik'e', x-chúumuk-paal-iik',/ x-t'uup-paal-iik'e', x-kanan-hóoyabo'ob, ah-kanan-káakabo'ob, yuum xunáan-balam-kan-iik', in yuumen. 156. Kin t'aanik bakaan xan,/ 157. ti' Dios* Padre*, Dios* Hijo, Dios* Espíritu* Santo*./

158. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*./ 159. Dios* Yuumbi(l), Dios* Mehenbil, Dios* Espíritu* Santo*./

160. Utia'a(l) bakaan k k'áatik bakaan (h)un p'ée(l) santo* bendición*e', Padre* mío*,/ 161. ti' bakaan xki'ichpam ko'olebi(l) Santa*

María, kin k'uubik cuenta* yéete(l) ti' yuum Santísimo* Sacramento*./ 162. Kin xolampixtik bakaan tu chúunuk ka'an-che' yuu(m a)h-kanan-káakabo'ob yéete(l) tuláaka(l) yuum iik'o'ob kin t'aanik bakaane', in yuumen./

[El Credo]

163. Creo* en* Dios* Padre* Todopoderoso*,/ creador* del* cielo* y* de* la* tierra* y* que* en* Jesucristo*,/ su* único* Señor* nuestro*, 164. que* fue* concebido* por* obra* del* Espíritu* Santo*./ 165. Nació* de* Santa* María* Virgen*. 166. Padeció* bajo* el* poder* de* Poncio* Pilato*. 167. Fue* crucificado*, muerto* y* sepultado*./ 168. Descendió* entre* los* infiernos*./ 169. Al* tercer* día* resucitó* entre* los* muertos*. 170. Subió* a* los* cielos*. 171. Está* sentado* en* la* diestra* de* Dios* Padre* Todopoderoso*./ 172. Y* desde* allá* ha* de* venir* a* juzgar* a* los* vivos* y* a* los* muertos*. 173. Creo* en* el* Espíritu* Santo*,/ la* Santa* Madre* Iglesia* Católica*/, la* comunión* de* los* Santos*, el* perdón* de* los* pecados*,/ la* resurrección* de* la* carne* y* la* vida* perdurable*. Amén*./

174. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*. 175. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*.

[La Salve]

176. Salve,/ salve, regina mater misericordia./ 177. A ti penosa salve,/ a ti clamamos./ 178. A ti suspiramos clemente lagrimarovalle,/ clemente lagrimarovalle./ 179. Oh, wiltritri, oh Virgen, dulce María./ 180. A ti penosa salve,/ a ti clamamos./ 181. Oremos./ 182. Et cruz caro perdón, Cristo perdón. Domino nostro. Amén./

183. En* unión* de* todos* los* santos* y* santas*./ 184. Esta* bendición* de* Dios* ku p'aata(l) bakaan way tu chúumuk (l)e santo* lugar* tu k'aaba' ti' k Santo* Domingo*. 185. Binen, in yuumen,/ 186. tu k'aaba' bakaan treinta* y* cuatro* hermanos*o'ob bakaane', Padre* mío*. 187. Teech bakaan bin a ki' si'ihto'on (l)e santo* bendición* bakaan./ 188. Tu

k'aaba' tuláaka(l) santos*o'ob tu k'aaba' tuláaka(l) yuum iik'o'ob, u chiibalilo'ob, u iik'alilo'ob bakaane', in yuumen./ 189. Le k seen tu beetik, le k t'aan beetik, le k xolampixtik bakaan./ 190. Utia'a(l) bakaan k pahiiktik bakaan (h)un p'ée(l) santo* lugar* tu k'aaba' Santo* Domingo*, 191. kin t'aanik bakaan, 192. tu k'aaba' Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*./ 193. Kin t'aanik bakaan tuláaka(l) iik'alilo'ob tu kan ti' its le santo* lu'um bakaan, 194. tu'ux t'aanik bakaan tuláaka(l) santos*o'ob yéete(l) yuum iik'o'oba', in yuumen./ 195. Gloria* al* Padre*, gloria* al* Hijo*, gloria* del* Espíritu* Santo*./ 196. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./

[El Padre Nuestro]
197. Padre* nuestro* que* estás en* los* cielos*, santificado*/ sea* tu* nombre*. 198. Vénganos* en* tu* reino*. 199. Hágase*, señor*, tu* voluntad* aquí* en* la* tierra* como* en* el* cielo*./ 200. Dárnos* hoy* nuestro* pan* de* cada* día. 201. Perdónanos* nuestras* ofensas* como* también* nosotros* perdonamos* a* quien* nos* ofende*./ 202. No* nos* dejes* caer* en* la* tentación* y* líbranos*, señor*, de* todo* mal*. Amén*./

203. La* bendición* de* Dios* Padre* Todopoderoso*, ku p'aata(l) bakaan way tu chúumuk (l)e santo* lu'um tu k'aaba' treinta* y* cuatro* hermanos*'e', in yuumen./ 204. Gloria* al* Padre*, gloria* al* Hijo*, gloria* del* Espíritu* Santo*./ 205. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./

4.3.2 「水祭壇」の祈禱（日本語訳）

1．父と子と聖霊のみ名によって。

2．我が主、神にして人間のイエス・キリスト、真なる創造主、我が救い主よ、汝にして我なり、我すべてを愛せしなれば。3．我を苦しませ給え、主よ。我他人を傷つけたればなり。4．我改心することを、告白することを強く誓わん。5．汝、かつてその神聖なるみ心、深きお慈悲によりて、償いを［授け給えり］。6．願わくは汝の貴きみ血にて罪の許されんことを。7．さらなる罪を

犯すことなきよう恩寵を授け給え。願わくは、汝の聖なる愛とみ救いの、我が命の尽きるまで続かんことを。アーメン。8．父と子と聖霊のみ名によって。9．世々にいたるまで。アーメン。

10．ご機嫌あれ、神々よ。11．我語らんとす。父と子と聖霊様。12．我、黒き土地のぬしのみ台の前に跪かんとす、我が主よ。13．よりて、我語らん。すべての聖人様、すべてのイーク様。サント・ドミンゴの土地の真ん中の聖なる場所において、我が父よ。14．これ、汝らに、我祝福を求めんがためなり。15．これ、み救いを求めんがため。16．これ、跪かんがためなり。17．よりて、我涙もて聖なる美しき水を求めんとす、我が主よ。

18．我、すべての聖人様とすべてのイーク様のみ名において語るものなり。19．よりて、我跪くなり。20．よりて、我祈りを唱ゆるなり。21．よりて、我涙もて求むなり。22．よりて、我祝福を求むなり、我が主よ。23．また、我ら34名の兄弟が喜びて聖なる土地の木陰を歩めんことを、我が父よ。24．汝、我に聖なる祝福を授け給え、我が主よ。

25．我、聖なる美しきサカを差し出さん。26．我、聖なるトリのために祈らん。27．これ、黒き土地のぬしのみ台の前にて、汝らに差し出すものなり。28．よりて、祝福を求めんとす、我が主よ。29．父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。30．世々にいたるまで。31．父と子と聖霊様。

32．黒き土地のぬしのみ台の前に跪かんがため、我が主よ、33．我、汝らに聖なるサカを供えるものなり、34．よりて、祝福を求めん。よりて、み救いを求めん。

35．我跪かん。よりて、我語らん。ママ村の美しき聖母様。36．我貴女様に語らんとす。美しき被昇天の聖母様、美しき聖母エストレージャ様。37．我語らん。聖ベルナルディーノ様。38．我語らん。聖ベルナルド様。39．我語らん。聖騎士ビセンテ様、聖騎士マルティン様、聖エウスタキオ・ブエナベントゥーラ様、聖ロレンソ様。40．我語らん。永遠なる父の〔不明〕、40時間様。41．我跪かん。神々しき世界の救世主。42．我語らん。山々のサン・ホセ様。43．我、汝に語らん。我が父よ。44．汝、我らに聖なる祝福を授け給え。45．我跪くは、聖なる水曜日なり。46．我、み救いを求めんとするがためなり、47．我、祝福を求めんとするがためなり、我が主よ。

48．我語らん。すべてのイーク様。4つの隅と雲浮ぶ高き空、東のイーク様、北のイーク様、西のイーク様。49．我語らん。よりて、我、黒き土地のぬしの

み台の前に跪かん。50．そこより、我語るは東のイーク様、北のイーク様、西のイーク様、南のイーク様なり。我が主よ。51．我ら応えて語らん。美しき聖母サンタ・マリア様の土地の真ん中で。52．我語らん。聖なるサクラメント様。53．我語らん。幼児キリスト様。54．我語らん。カベサ・コロナド様、聖大天使ミカエル様、ロガラレモス様、40時間様。55．よりて、我祝福を請うものなり。56．よりて、我み救いを請うものなり。我語るなり、我が主よ。57．父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。58．世々にいたるまで。59．父と子と聖霊のみ名によって。

60．来給え、我が主よ。61．我求めんとすは聖なる祝福なり。62．よりて、我語らん。聖フランチェスコ様、聖イシドロ様、聖アントニオ様。63．我語らん。聖ヨハネ様、聖パウロ様。64．我語らん。ガスパール様、メルチョール様、バルタサル様、主サンティアギート様、使徒サンティアギート様、ハラチョのサンティアギート様。

65．我語るは汝なり、我が主よ。66．よりて、我心より真なる口すなわち聖なるみ台の入り口に語るなり、我が主よ。67．これ、そこよりサカを差し出さんがため。68．聖なるロウソクも差し出さん。69．よりて、我跪き、よりて我み救いを求めるなり、我が主よ。

70．我語らん。すべての聖人様。71．我語らん。聖イグナシオ様。72．我語らん。幼児キリスト様。73．我語らん。カベサ・コロナド様、聖大天使ミカエル様、ロガラレモス様、40時間様。74．我語らん。聖人マテアス様、40時間様。75．我語らん。偉大なる神の力様、天使聖ガブリエル様、聖大天使ミカエル様、聖ラファエル・ブエナベントゥーラ様、聖ロレンソ様。76．我語らんとすは汝なり、我が父よ。77．汝、我らに聖なる祝福を授け給え、我が主よ。78．すべての聖人の名において、すべてのイーク様の名において、父と子と聖霊のみ名によって。79．父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。80．世々にいたるまで。81．父と子と聖霊のみ名によって。

82．これ、祝福に跪かんがためなり。83．よりて、我、34名の兄弟のために語るなり、我が主よ。84．汝、我に祝福を授け給え。85．〔不明〕86．これ、すべてのイーク様に語らんがため、我が父よ。87．汝、我らに祝福を授け給え。88．我語らん。すべての聖人様とすべてのイーク様。89．我語らん。美しき聖母聖トリニダー様、聖マグダレナ様、聖イサベル様、聖マルタ様、聖リタ様、聖リブラーダ様。90．我語らん。健康の主、雨の主。

91．我語らん。4つの隅と雲浮ぶ高き空のシュ・キリン・チャーク[35]。92．我

語らん。シュ・アール・カブ・ムーヤル・イーク[36]、シュ・ティキン・シュ・キリン・チャーク、シュ・アール・カブ・ノーコル・ヨーボー、シュ・ヤーシュ・カーン・イーク。93. シュ・キリン・チャークなり。我語るは4つの隅と雲浮ぶ高き空なり。94. よりて、我聖なるサカを差し出さん。95. 午後の3時か4時、足を運び給え、我が主よ。96. そして、汝ら我らに祝福を授け給え。我らが求む聖なる美しき水を授け給え。97. 父と子と聖霊のみ名によって。98. 世々にいたるまで。99. 父のみ名によって、子のみ名によって、聖霊のみ名によって。

100. 我語らん。すべての聖人様。101. 我語らん。美しき聖母ドローレス様。102. 我語らん。聖ロマン様。103. 我語らん。イエスの聖なる心臓に。104. 我語らん。マリアの聖なる心臓に。105. 我語らん。聖なるサクラメント様。106. 我語らん。美しき聖母グアダルーペ様、グアダルーペの聖マリア様、我らが希望に。107. 我らがみ国を救い給え。我らが祈りを心に留め給え。108. 父と子と聖霊のみ名によって。109. 世々にいたるまで。110. 父と子と聖霊様。

111. 我ら祝福を求むものなり、我が父よ。美しき聖母聖マリア様。112. 我祈りを捧げるは聖なるサクラメント様。113. 黒き土地のぬしとすべてのイーク様のみ台の前に跪かん。114. 父と子と聖霊のみ名によって。115. 世々にいたるまで。アーメン。

116. 我語らん。すべてのイーク様。東のイーク様、北のイーク様、西のイーク様、南のイーク様。117. 我東の方に語らん。118. よりて、我語らん。黒き土地のぬし様、我が父よ。119. 黒き土地のぬし、これ我語るものなり。120. よりて、我ら祝福を求めん。121. よりて、我らみ救いを求めん、我が主よ。

122. 我語らん。北のイーク、つむじ風のイーク、シュ・スフイ・イーク、カナン・アークトゥン・イーク[37]。123. オトッチ・ムル・イーク[38]、カナン・ベー・イーク[39]、カナン・カーシュ・イーク[40]、カナン・コーラル・イーク[41]、カナン・ベール・イークに、我が主よ。124. シュ・アール・カブ・ムーヤル・イーク。我語らん。4つの隅と雲浮ぶ高き空に。

125. 我語らん。西のイーク様、アルーシュ・イーク、バラム・イーク、バタン・イーク[42]。126. オーショル・イーク[43]、大地をうだらせるオショル・イークこそ、我が主よ、127. 我らに聖なる美しき水を授けざるものなり、我が父よ。128. 汝、我らに聖なる祝福を授け給え、我が主よ。129. すべての聖人様のみ名において、すべてのイーク様のみ名において。

130. 我語らん。南のイーク様、シュ・ヤーシュ・パル・イーク、シュ・チュームク・パル・イーク、シュ・トゥーパル・イークに。131. カナン・ホーヤブ[44]、カ

ナン・カーカブ[45]様、シュナン・イーク[46]様、バラム様。我ら語るなり。132. よりて、我ら祝福を求むものなり、我が主よ。133. 父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。134. 世々にいたるまで。135. 父と子と聖霊に。

136. 我、美しき聖母聖マリア様のおわす天国の入り口に跪くものなり。137. 我語らん。すべての聖人様とすべてのイーク様。138. よりて、我聖なるサカの前に跪き、汝らに差し出すものなり、我が主よ。139. すべて（の神）よ、来給え。34名の兄弟が待つ聖なる場所に。我が父よ。140. 汝、我らに聖なる祝福を授け給え、我が主よ。141. 父のみ名によって、子のみ名によって、聖霊のみ名によって。142. 父と子と聖霊のみ名によって。143. 世々にいたるまで。アーメン。

〔朗唱〕

144. いと高きなるかな、かの家は。美しきバラム、美しきバラムの家。145. 我語らん。黒き土地のぬしの美しきバラム。146. 我語らん、我が主よ。147. 我跪かん。148. 我、涙もて祈らん。東のイーク、北のイーク、西のイーク、南のイーク。149. 我語らん、我が主よ。150. 我語らん。東のイーク、黒き土地のぬし様、黒き土地のぬし。151. 我語らん、我が主よ。152. 我跪かん。北のイーク、旋風のイーク、スフイ・イーク、カナン・アークトゥン・イーク、オトッチ・ムール・イーク、カナン・カーシュ、シュ・カナン・コラル・イーク。153. 我語らん、我が主よ。154. 西のイーク様、アルーシュ・イーク、バラム・イーク、バタン・イーク、チーバル・イーク、オショル・イーク。155. 我語らん。北のイーク様、シュ・ヤーシュ・パール・イーク、シュ・チュームク・パール・イーク、シュ・トゥープ・パール・イーク、シュ・カナン・ホーヤブ、黒き土地のぬし、シュナーン・バラム・カン・イーク様、我が主よ。156. 我語らん。157. 父なる神、子なる神、聖霊なる神。

158. 父と子と聖霊のみ名によって。159. 父と子と聖霊のみ名によって。

160. 我ら、聖なる祝福を求めんがため、我が父よ、161. 美しき聖母聖マリア様に、我祈りを捧ぐなり。同じく、聖なるサクラメント様。162. 我、黒き土地のぬしとすべてのイーク様のみ台の前に跪かん。我、右の神々に語るなり。

〔使徒信条〕[47]

163．われは天地の創造主、全能の父なる天主を信じ、またそのおん独り子、われらの主イエズス・キリスト、164．すなわち、聖霊によりて宿り、165．童貞マリアより生まれ、166．ポンシオ・ピラトの管下にて苦しみを受け、167．十字架につけられ、死して葬られ、168．古聖所にくだりて、169．三日目に死者のうちよりよみがえり、170．天にのぼりて、171．全能の父なる天主の右に座し、172．かしこより、生ける人と死せる人とを裁かんために来たりたもう主を信じたてまつる。173．われは聖霊、聖なる公教会、諸聖人の通功、罪のゆるし、肉身のよみがえり、終わりなきいのちを信じたてまつる。アーメン。

174．父と子と聖霊のみ名によって。175．世々にいたるまで。アーメン。

〔聖母マリアを讃える祈り〕
176．救い給え、救い給え、憐れみの母よ。177．貴女様痛ましく思うなれば、救い給え、我ら貴女様におすがりするなれば。178．貴女様に嘆きます、慈悲深きお方なれば、慈悲深きお方なれば。179．ああ、〔不明〕、ああ、優しき聖母マリア様。180．貴女様痛ましく思うなれば、救い給え、我ら貴女様におすがりするなれば。181．皆で祈らん。182．Et cruz caro perdón. Cristo perdón. Domino nostro. アーメン。

183．神なるすべての聖人聖女のみ前にて。184．願わくは、我らがサント・ドミンゴの聖なる土地の真ん中に神の祝福の取り分けられんことを。185．来給え、我が主よ。186．34名の兄弟の何おいて、我が父よ。187．汝、我らに聖なる祝福を授け給え。188．すべての聖人様のみ名において。すべてのイーク様、チーバリル、イーカリルのみ名において、我が主よ。189．これこそ、我ら意図するものなり。これこそ、我ら祈り行なうものなり。これこそ、我ら跪きしものなり。190．我ら、サント・ドミンゴの聖なる場所を〔不明〕せんがため、191．我語らん。192．父なる神、子なる神、聖霊なる神のみ名によって。193．我語らん。すべてのイークに、聖なる大地の四隅に。194．よりて、すべての聖人様。イーク様。我が主よ。195．父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。196．世々にいたるまで。アーメン。

〔主の祈り〕
197．天にましますわれらの父よ、願わくは、み名のとうとまれんことを。198．

み国の来たらんことを。199．み旨の天に行なわるるごとく、地にも行なわれんことを。200．われらの日用のかてを、今日われらに与えたまえ。201．われらが人にゆるすごとく、われらの罪をゆるしたまえ。202．われらを試みに引きたまわざれ。われらを悪より救いたまえ。アーメン。

203．願わくは父なる全能の神の祝福の、我ら兄弟姉妹の名においてこの聖なる大地の真ん中に取り分けられんことを、我が主よ。204．父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。205．世々にいたるまで。アーメン。

4．3．3 「料理祭壇」の祈禱（原文）[48]

1．En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*./

2．Señor* mío*, Jesucristo* Dios* y* hombre*, verdadero* Creador*, Redentor* mío*, por* ser* vos* quien* soy*,/ porque* amo* sobre* todas* las* cosas*. 3．A* mí* me* pesa*, pésame*, señor*, de* todo* corazón* de* haberlos* ofendido*./ 4．Propongo* firmemente* enmendarme* confesarme*. 5．Hace* tiempo* [andisiere?] satisfacción* en* vuestra* divina* bondad* misericordia*/ infinita*. 6．Me* los* perdonarás* por* vuestra* preciosísima* sangre*./ 7．Me* darás* gracia* para* nunca* más* pecar* y* perseverante* vuestro* santo* amor* y* servicio*/ hasta* el* fin* de* mi* vida*. Amén*. 8．En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*./ 9．Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./

10．Buenas* tardes*, yuumtsile'ex. 11．Kin t'aanik bakaan, Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*./ 12．Kin xolampixtik bakaan tu chúuluk ka'an-che' yuu(m a)h-kanan-káakabo'ob, 13．ikil in k'áatik bakaan (l)e bendición*, 14．ikil in xolampixtik bakaan (l)e santo* milagro*, 15．tio'l in wok'ol t'aantik bakaan hunp'éel santo* xunáan ha' bakaane', in yuumen./ 16．Le ikil in k'áatik bakaan (l)e salvación* bakaan, 17．k k'áat beetik to'one' hermanos*o'ob bakaan ti' hunp'éel santo* lugar*, 18．tu'ux k k'áat beetik to'on tio'le santo* xunáan ha', 19．kin t'aanik bakaana, Padre* mío*./

20．Ti' kin t'aanik bakaan ti' lak'in iik'o'ob, xaman iik'o'ob, chik'in iik'o'ob, nohol iik'o'ob beh tu chúumuk ka'ane', xki'ichpam ko'olebi(l)

Santa* María*./ 21. Kin t'aanik bakaan yuum Santísimo* Sacramento*. 22. Kin t'aanik tuláaka(l) santos*o'ob yéetel tuláaka(l) yuum iik'o'ob, 23. tu k'aaba' Mehenbil, tu k'aaba' nuukuchbil, tu k'aaba' Espíritu* Santo*./ 24. Gloria* al* Padre*, gloria* al* Hijo*, gloria* del* Espíritu* Santo*./ 25. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./ 26. Dios* Yuumbil, Dios* Mehenbil, Dios* Espíritu* Santo*./

27. Utia'al bakaan in k'uubik bakaan (l)e santo* báalche', ikil in t'aanik tuláaka(l) yuum iik'o'ob tu kan ti'its tu ka'an yali' múuyal./ 28. Kin t'aanik bakaan tuláaka(l) santos*o'ob yéetel tuláaka(l) yuum iik'o'obe', 29. tu k'aaba' Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*./

30. Kin xolampixtik ikil in t'aanik bakaane', xki'ichpam ko'olebi(l) tu kaahi(l) Mamita*. 31. Kin t'aankech, xki'ichpam ko'olebi(l) Asunción*,/ xki'ichpam ko'olebi(l) Estrella*. 32. Kin t'aanik ti' yuum San* Bernardino*. 33. Kin t'aanik yuum San* Bernardo*. 34. Kin t'aanik ti' yuum San* Vicente* caballero*, San* Martín* caballero*, San* Eustaquio* Buenaventura*, San* Lorenzo*./ 35. Kin t'aanik bakaan xan yáalma t'aan Padre* Eterno*, ti' Cuarenta* Horas*. 36. Kin xolampixtik ti' Divino* Redentor* del* Mundo*./ 37. Kin t'aanik señor* San* José* de* las* montañas*.

38. Kin t'aankeech bakaane', Padre* mío*./ 39. Teech bakaan bin a ki' si'ihto'on (l)e santo* bendición*, 40. ikil in xolampixtik bakaan tu kan ti'its tu ka'an yali' múuyal./ 41. Kin t'aanik bakaan, 42. tu k'aaba' Mehenbiil, tu k'aaba' Nukuchbiil, tu k'aaba Espíritu* Santo*. 43. Gloria* al* Padre*, gloria* al* Hijo*,/ gloria* del* Espíritu* Santo*. 44. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./ 45. Dios* Yuumbil, Dios* Mehenbil, Dios* Espíritu* Santo*./

46. Utia'al bakaan in k'áatik bakaan (l)e suhuy bendición* yéetel (l)e santo* xunáan sakab bakaan kin ki k'uubik bakaana', Padre* mío*./ 47. Iki(l) bakaan in wok'ol k'áatik bakaan (l)e santo* xunáan ha' bakaan. 48. Kin t'aanik bakaan (l)e xkiliin cháako'obo',/ le xtikin nookoyo' bakaan, le x-aal-k'ab múuyal iik'o'obo'. 49. Le xyaax ka'an iik'o'ob bakaano', leti'e' kin t'aanik ikil in k'áatik (l)e bendición*a', in yuumen./ 50. Gloria* al* Padre*, gloria* al* Hijo*, gloria* del* Espíritu* Santo*. 51. Dios* por*

todos* los* siglos* de* los* siglos*./ 52. Dios* Yuumbi(l), Dios* Mehenbi(l), Dios* Espíritu* Santo*./

53. Utia'al bakaan in k'uubik bakaan (l)e santo* ch'íich', 54. ikil in wok'ol k'áatik bakaan (l)e santo* xunáan ha' bakaana', Padre* mío*./ 55. Kin t'aanik bakaan xunáan iik'o'ob bakaan ti'o hunp'éel santo* xunáan ha'. 56. Kin t'aanik bakaan ti'o' le santo* ho'oche' bakaan, 57. kin ki' k'uubik bakaan k k'áat beetike', to'one' hermanos*o'oba', Padre* mío*./ 58. Si'ih-to'on (l)a bendición*e', in yuumen, 59. tu k'aaba' Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*.

60. Kin t'aanik bakaan San* Francisco*, San* Isidro*, San* Antonio*,/ San* Juan*, San* Pedro*, San* Pablo*. 61. Kin t'aanik Gaspar*, Melchor* y* Baltazar*, Santiaguito* Patrón*,/ Santiaguito* Apóstol*, Santiaguito* Halachó*. 62. Kin t'aankeech bakaane', Padre* mío*, 63. ikil in hala' t'aantik bakaan tu hala' chi' bakaan hunp'éel santo* ka'an-che', in yuumen,/ 64. tu'ux kin t'aanik bakaan tuláaka(l) yuum iik'o'obe', 65. ti kin t'aanik bakaan ikil in xol(am)pixtik bakaan, 66. tu k'aaba' Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*./

67. Kin t'aanik bakaan yéetel tuláaka(l) yuum iik'o'obe' tu k'aaba'[...], tu kan ti'its tu ka'an yali' múuyal: lak'in iik'o'ob, xaman iik'o'ob, chik'in iik'o'ob, nohol iik'o'ob bakaan./ 68. Le kin t'aanik bakaane', in yuumen, tu k'aaba' tuláaka(l) santos*o'ob, tu k'aaba' tuláaka(l) yuum iik'o'obe'. 69. Kin t'aanik bakaan tu k'aaba' tuláaka(l) hermaanos*o'obe, in yuumen./ 70. Wey bakaan ti' hunp'éel santo* lugar*, tu'ux kin wok'ol k'áatik bakaan (l) e santo* xunáan ha' bakaana', Padre* mío*, 71. ti' kin xolampixtik kin t'aanik bakaan tu kan ti'its tu ka'an yali' múuyal./ 72. Kin t'aanik bakaan tu k'aaba' tuláaka(l) santos*o'ob, 73. tu k'aaba' Mehenbil, tu k'aaba' Nukuchbil, tu k'aaba' Espíritu* Santo*. 74. Gloria* al* Padre*, gloria* al* Hijo*,/ gloria* del* Espíritu* Santo*. 75. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./ 76. Dios* Yuumbi(l), Dios* Mehenbi(l), Dios* Espíritu* Santo*./

77. Utia'a(l) bakaan in xolampixtik bakaan u chúumuk ka'an-che' yuum kanan-káakabo'ob bakaane', Padre* mío*,/ 78. kin xolampixtik bakaan tu hool u Gloria* xki'ichpam ko'olebi(l) Santa* María*, yuum

Santísimo* Sacramento*. 79. Kin t'aanik bakaan,/ kin t'aanik yuum San* I(g)nacio*. 80. Kin t'aanik San* Joaquín*, Santa* Ana*. 81. Kin t'aanik bakaan Niñito* Jesús*. 82. Kin t'aanik bakaan ti' Cuarenta* Horas*./ 83. Kin xolampixtik ikil in k'áatik bakaan (l)e suhuy bendición*, 84. tu k'aaba' Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*. 85. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*./ 86. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./

87. Dios* Padre* celestial*,/ tu no'oh bin a k'abe', Padre* mío*, kin t'aanik bakaan tuláaka(l) yuum iik'o'ob. 88. Kin suuk beetik yuum iik'o'ob. 89. Kin he' k'áantik bakaan tu kan ti'its tu ka'an yali' múuyal./ 90. Ikil in xol(am)pixtik, ikil in t'aanik bakaan, 91. tu k'aaba' Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*.

92. Kin t'aanik bakaan yuum Gran* Poder* de* Dios*,/ Angel* San* Grabiel*, San* Miguel* Arcangel*, San* Rafael* Buenaventura*,/ San* Lorenzo*. 93. Kin t'aankeech bakaane', Padre* mío*, tio'la bakaan (l)e bendición*, 94. tu k'aaba' tuláaka(l) yuum iik'o'ob, tu k'aaba' tuláaka(l) yuum cháako'ob bakaan. 95. Kin t'aanik bakaan,/ ikil in xol(am)pixtik, 96. tu k'aaba Mehenbiil, tu k'aaba' Nukuchbiil, tu k'aaba' Espíritu* Santo*.

97. Kin t'aanik bakaan xki'ichpam ko'olebi(l) Santa* Trinidad*,/ Santa* Ma(g)dalena*, Santa* Isabel*, Santa* Marta*, Santa* Rita*, Santa* Librada*./ 98. Kin t'aanik bakaan xki'ichpam ko'olebi(l) Perpétuo* Socorro*./ 99. Kin t'aanik yuum Santa* Cruz*. 100. Kin t'aanik Señor* de* la* Salud*, Señor* de* las* lluvias*. 101. Kin t'aankeech bakaane, Padre* mío*./ 102. Teech bakaan bin a ki' si'ihto'on (l)e santo* bendición*, 103. tu k'aaba' Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*.

104. Kin t'aanik bakaan sagrado* Corazón* de* Jesús,/ sagrado* Corazón* de* María*, sagrado* Corazón*. 105. Kin t'aankeech bakaane', Padre* mío*. 106. Kin t'aanik señor* Santísimo* Sacramento*. 107. Ten* piedad* de* nosotros*./ 108. Kin t'aanik bakaan xki'ichpam ko'olebi(l) Santa* María*. 109. Ten* piedad* de* nosotros*. 110. Kin t'aanik xki'ichpam ko'olebi(l) Guadalupe*. 111. Ten* piedad* de* nosotros*./ 112. Santa* María* de* Guadalupe*, esperanza* nuestra*, salva* nuestra* patria*. 113. Conserva* nuestra* fe*/, 114. En* el* nombre* del* Padre*

del* Hijo* y* del* Espíritu* Santo*./ 115. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./ 116. Dios* Yuumbiil, Dios* Mehenbiil, Dios* Espíritu* Santo*./

117. Utia'al bakaan in xolampixtik ikil in wok'ol k'áatik bakaan (l)e santo* xunáan ha', 118. k ki' k'áat beetik to'one, hermanos*o'oba, Padre* mío*./ 119. Ti' bakaan xki'ichpam ko'olebi(l) Santa* María*, kin k'uubik cuenta* yéete(l) ti' yuum Santísimo* Sacramento*./

120. Kin xolampixtik ti' bakaan lak'in iik'o'ob, ti' xaman iik'o'ob, chik'in iik'o'ob, nohol iik'o'ob bakaane'. 121. Letie', kin t'aanik, 122. ikil in k'áatik bakaan (l)e suhuy bendición* bakaana', in yuumen./ 123. Kin t'aanik bakaan, 124. k nu'uk t'aantik to'on bakaan tu chúumuk u ka'ani' xki'ichpam ko'olebi(l) Santa* María*, ti' bakaane' lak'in iik'o'ob, ti' lak'in iik'o'obe', xkanan-káakabo'ob./ 125. Le xkanan-káakabo'obo', kin t'aanik bakaan (l)e aal-k'ab-múuyal-iik'o'ob bakaano', in yuumen./

126. Te bakaan xaman bakaan, tu'ux kin t'aanik xaman iik', xmoson-iik', suhuy-iik'. 127. Kin t'aank (l)e xkanan-áaktun-iik'o'obo'./ 128. Le otoch-muul-iik'o'ob, xkanan-beel-iik'o'ob, xkanan-k'áaxo'obo', xkanan-cóoralo'obo', otoch-beel-iik'o'obo, xíimxiimbal-iik'o'obo'./ 129. Letie', kin t'aanik bakaan (l)e-aal-k'ab-m'uuyal-iik'o'obo', le xyaax-ka'an-iik'o'obo', le xkilin-cháako'ob bakaan tu kan ti'its tu ka'an yali' múuyal./

130. Kin t'aanik bakaan yéete(l) tuláaka(l) yuum iik'o'obe', 131. tu'ux kin t'aanik bakaan ti' xchik'in-iik'e', ti' alux-iik', ti' báalam-iik', le baatan-iik', chi'ibal-iik', ooxol-iik'ilo'ob bakaan ku ki' ooxolankilo'obe', in yuumen./ 132. Wa tumen bakaan tio'la ooxol-iik'o'ob ma' tu ki' si'ibito'on (l)e santo* xunáan ha' bakaana', Padre* mío*. 133. Le santo* síis ha', le santo* uk'ul bakaan, kin ki' k'uubik tio' le santo* xunáan ha', 134. kin wok'ol k'áatik bakaana', in yuumen./ 135. Si'iteen (l)a bendición*e', Padre* mío*, 136. tu k'aaba' tuláaka(l) santos*o'ob, tu k'aaba' tuláaka(l) yuum iik'o'obe'.

137. Kin t'aanik ti' xnohol iik' bakaan,/ ti' bakaan xnohol iik', xchik'in iik'o'obe'. 138. Letie', kin t'aanik bakaan xnohol iik'e, yáax-paal-iik'o'ob, chúumuk-paal-iik'o'obe', xt'uup-paal-iik'o'ob./ 139. Le yuu(m a)h-kanan-hóoyabo'ob, le yuum ah-kanan-káakabo'obo', le xunáan-iik'o'ob, le yuum

báalmo'obo', le baatan-iik'o'obo'.

140. Letie', kin t'aanik bakaan behlae' tu k'ini' u santo* miercoles*e', in yuumen./ 141. Le ikil in k'áatikte'ex (l)e salvación*, 142. le ikil in k'áatik (l)e bendición* bakaan way tu chúumuk hunp'éel santo* unidad*, 143. tu'ux kin ki' k'uubik bakaan hunp'éel santo* xunáan ha' bakaane', in yuumen./ 144. Le bakaan (l)e santo* xunáan ha' kin t'aanikte'ex bakaan k k'aaba'tik to'one' ch'a'a cháak bakaana', Padre* mío*, 145. Si'ihten (l)a bendicion*e', in yuumen,/ 146. tu k'aaba' bakaan Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*./ 147. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Dios* Espíritu* Santo*./ 148. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./ 149. Dios* Yuumbil, Dios* Mehenbil, Dios* Espíritu* Santo*./

150. Utia'a(l) bakaan, uti' in xolampixtik bakaan, utia'al in k'uubik bakaan (l)e santo* ho'oche' bakaana', Padre* mío*./ 151. Tin k'uubah bakaan (l)e santo* sakab. 152. Tik k'uubah bakaan (l)e santo* báalche'. 153. Tin k'uubah bakaan (l)e santo* ch'íich', bakaan le santo* noh waaho' bakaan,/ le bakaan (l)e meehen xnóoxo' bakaan, le santo* sopa*. 154. Kin ki' k'uubik tu kan ti'its tu ka'an tu yali' múuyal, 155. tu'ux kin t'aanik, 156. Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*, in yuumen./

157. Kin péeks beesik, in yuum iik'o'ob. 158. Kin suuk beesik, in yuum iik'o'ob, tu kan ti'its tu ka'an tu yali' múuyal, 159. tu'ux kin k'áatik bakaan (l)e salvación*, 160. tu'ux kin k'áatik (l)e bendición*,/ 161. tu'ux bakaan kin xolampixtik bakaan, 162. ikil k ki' k'áatbeetik to'on treinta* y* cuatro* hermáanos*o'ob bakaane', Padre* mío*./ 163. Le ikil in t'aanik bakaan tia'al (h)unp'éel santo* unidad* bakaan ti' (l)e santo* ch'a'a cháak, le santo* loh cháako'ob, kin t'aanik bakaan./ 164. Le kin xol(am)pixtik, 165. tu k'aaba Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*. 166. Gloria* al* Padre*, gloria* al* Hijo*,/ gloria* del* Espíritu* Santo*. 167. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./

[Canto]

168. Ka'anak nah, (u) yotoch bin bakaan xan, xunáan balam,/ xunáan balam. 169. Kin t'aanik bakaan xan u xunáan bal(a)mi u ah-kanan-káakabi(l)./ 170. Kin t'aanik bakaan xan, in yuumen. 171. Kin xolampix-

tik bakaan xan. 172. Kin t'aanik bakaan xan ti' lak'in iik'o'ob, xaman iik'o'ob, chik'in iik'o'ob,/ nohol iik'e', in yuumen. 173. Kin t'aanik bakaan xan. 174. Kin t'aanik ti' yuum kanan-káakabo'ob, ti' lak'in iik'e', kanan-káakabo'ob. 175. Kin t'aanik bakaan xane', in yuumen./ 176. Kin xolampixtik, kin payal t'aanik. 177. Kin t'aanik ti' chik'in, xaman iik'e'ex, xaman iik'o'ob, xmoson-iik'e'ex, suhuy-iik'o'obe', kanan-áaktun-iik',/ otoch-múul-iik'e, kanan-k'áaxo'ob, kanan-corral-iik'e, kanan-bee(l)-iik'o'obe'. 178. Kin t'aanik bakaan xan, kanan-k'áax-iik'e', in yuumen. 179. Kin t'aanik bakaan xan/ ti' yuum chik'in iik'o'ob, alux-iik'o'ob, balam-iik'e', batan-iik'o'ob, chi'ibal-iik'o'ob, ooxol-iik'. 180. Kin t'aanik bakaan xan, in yuumen. 181. Kin xolampixtik bakaan xan/ ti' xnohol iik'e', xyáax-paal-iik'o'obe', xchúumuk-paal-iik'e', xt'uup-paal-iik',/ kanan-hóoyabo'ob, ah-kanan-káakabe', yuum xunáan-balam-kan-iik'e, in yuumen. 182. Kin t'aanik bakaan xan,/ 183. ti' Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*./

184. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*./ 185. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./ 186. Dios* Yuumbi(l), Dios* Mehenbi(l), Dios* Espíritu* Santo*.

187. Utia'al bakaan in k'áatik bakaan (l)e santo* bendición* bakaana', Padre* mío*,/ 188. le santo* xunáan ha' bakaan kin ki' ok'ol k'áatik te'ex bakaan, 189. behlae' tu k'ini' hunp'éel santo* miercoles*e', in yuumen./ 190. Le ikil in k'áatik bakaan (l)e salvación*, 191. le ikil in k'áatik (l)e bendición* bakaan [ka' anakil]* (h)unp'i si'ihbito'on (l)e santo* xunáan ha' bakaan tu kan ti'its tu ka'an tu yali' múuyal./

192. Kin t'aanik bakaan tuláaka(l) yuum iik'o'ob, ti' lak'in iik'o'ob, ti' xaman iik'o'ob, chik'in iik'o'ob, nohol iik'o'ob bakaane', in yuumen./ 193. Behla' tuun tu suhuy bin hunp'éel santo* las* cuatro* de* la* tarde* utia'al hunp'éel santo* miercoles*e', Padre* mío*./ 194. Tia' bakaan in suutik tuláaka(l) yuum iik'o'obe', le lak'in iik'o'ob bakaan tin t'aano', 195. kin t'aanik bakaan yéetel le santo* báalche' bakaana', in yuumen./ 196. Ti' bakaan kin suutik bakaan yuum iik'o'obe', 197. tu k'aaba' Dios* Padre*,

Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*.

198. Kin t'aanik bakaan xki'ichpam ko'olebi(l) Santa* Trinidad*,/ Santa* Ma(g)dalena*, Santa* Isabel*, Santa* Marta*, Santa* Rita*, Santa* Librada*. 199. Kin t'aanke'ech bakaane', Madre* mía*,/ 200. iki(l) bakaan utia'a(l) ki' si'ike'exto'on (l)e santo* bendición* yéetel le santo* xunáan ha', 201. yéetel le santo* ho'oche' kin ki' k'uubik bakaan way tu chúumuk (h)un p'ée(l) santo* unidad bakaan, 202. tu'ux kin k'áatik (l)e bendición*a', in yuumen./

203. Kin t'aanik bakaan xan ti' xaman iik'o'ob bakaane', ti' xmozon-iik'o'ob, xsuhuy-iik'o'obe', xkanan-áaktun-iik'o'ob, le otoch-múul-iik'o'ob, xkanan-bee(l)-iik'o'ob, xkanan-k'áaxo'obo', xkanan-corraalo'obo',/ le xkanan-bee(l)-iik'o'ob, xíinxiimba(l)-iik'o'obo'. 204. Letie', tin t'aanah bakaan tio' le santo* xunáan ha' bakaan. 205. Kin wok'ol k'áatik tio' le yáax-ka'an-iik'o'ob, le x-aal-k'ab-múuyal-iik'o'obo',/ le bakaan le xkilin-cháako'ob bakaan tu kan ti'its tu ka'an tu yali' múuyal. 206. Kin ki' k'uubik bakaan u santo* ho'oche' le santo* xunáan ha' bakaana', in yuumen./ 207. Le kin suuk beetik bakaan tu kan ti'its tu ka'an tu yali' múuyal.

208. Kin t'aanik ti' chik'in iik'o'obe', ti' alux-iik'o'ob, ti' le báalam-iik' o'obo'./ 209. Le batan-iik'o'ob, chi'iba(l)-iik'o'ob, ooxo(l)-iik'ilo'ob bakaan, ku yooxolankilo'ob bakaan ma' tu ki' si'ibito'on (l)e santo* xunáan ha', in yuumen./ 210. Le kin suuk beetik bakaan ti' xchik'in iik'o'obe'.

211. Kin t'aanik tuláaka(l) santos*o'obe'. 212. Kin t'aanik San* I(g)nacio*, San* Joaquín*, Santa* Ana*./ 213. Kin t'aanik bakaan Niñito* Jesús*. 214. Kin t'aanik bakaan ti' Cabeza* Coronado*, ti' San* Miguel* Arcangel*, ti' Rogaroremos*, ti' Cuarenta* Horas*./

215. Le ikil in suutik bakaan tu kan ti'its tu ka'an tu yali' múuyal, 216. ikil in t'aanik ti' le nohol iik'o'ob bakaan ti' xyáax-paal-iik'o'ob, xchúumuk-paal-iik'o'ob, xt'uup-paal-iik'o'ob,/ le yuu(m a)h-kanan-hóoyabo'ob, le yuum ah-kanan-káakabo'obo', le yuum xunáan-iik'o'ob, le yuum báalmo'ob. 217. Bakan kin t'aanik le alux-iik'o'obo', le batan-iik'o'obo'./ 218. Letie', kin t'aank (l)e aluxo'obo'. 219. Letie', kin k'áatik ikil in suuk beetik yuum iik'o'ob tu kan ti'its tu ka'an yali' múuyal./

220. Kin t'aanik bakaan xki'ichpam ko'olebi(l) Santa* Trinidad*,

Santa* Ma(g)dalena*, Santa* Isabel*, Santa* Marta*, Santa* Rita*, Santa* Librada*./ 221. En* el* nombre* de* Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*. 222. Dios* por* todos* los* siglos*./ 223. Así* sea* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./

224. Dios* Padre* celestial*, tu noh bin a k'ab teeche', Padre* mío*./ 225. Kin suuk beetik yuum iik'o'ob bakaan tu kan ti'its tu ka'an tu yali' múuyal, 226. tio' le santo* xunáan ha' bakaan kin ki' wok'ol k'áatik in rogar*kimbah. 227. Kin rogar*tik bakaan ti' tuláaka(l) santos*o'ob yéete(l) tuláaka(l) yuum iik'o'obe', in yuumen./ 228. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo*, del* Espíritu* Santo*./ 229. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./ 230. Dios* Yuumbil, Dios* Mehenbil, Dios* Espíritu* Santo*./

231. Utia'a(l) bakaan in suutik yuum iik'o'ob tu kan ti'its tu ka'an tu yali' múuyal./ 232. Péeks beetik bakaan yuum iik'o'ob las* seis* de* la* mañana* tu suhuy bakaan 233. hunp'ée(l) cuatro* y* media* de* la* tarde* iki(l) kin suuk beetik tuláaka(l) yuum iik'o'ob 234. uchúu(l) k ok'ol k'áatik (l)e santo* xunáan ha' bakaana', in yumen./ 235. Tu k'aaba' bakaan Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*. 236. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*./ 237. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./

[Canto]

238. Cantemos* el* canto* de* los* amores*./ 239. Cantemos* al* Señor*/ Dios*. 240. Estad* aquí*. Venid*, adoradores*. 241. Adoremos*/ a* Cristo* Redentor*./ 242. Gloria* a* Cristo* Jesús*. 243. Cielos* y* tierras*./ 244. Bendecido* al* Señor*./ 245. Honor* y* gloria* a* ti*, rey* de* la* gloria*./ 246. Amor* por* siempre* a* tí*, Dios* del* amor*./

247. En* el* nombre* de* Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*. 248. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./ 249. Dios* Yuumbil, Dios* Mehenbil, Dios* Espíritu* Santo*./

250. Utia'al bakaan in k'áatik (l)e bendición* bakaana', Padre* mío*,/ 251. le treinta* y* cuatro* hermanos*o'ob ti' le santo* unidad* ti' (l)e santo* xunáan ha' bakaan k ok'ol k'áatika', in yuumen./ 252. Utia'a(l) bakaan

walki' bin un* año* tu ka' téena', in yuumen, 253. utia'a(l) bin u ka' t'aana' tuláaka(l) iik'a', le santo* lu'um bakaan iik'a', le santo* xunáan ha' bakaan./ 254. Le kin t'aanik bakaan, 255. tu k'aaba' Dios* Padre*, Dios* Hijo*, Dios* Espíritu* Santo*.

[El Credo]
256. Creo* en* Dios* Padre* Todopoderoso*,/ Creador* del* cielo* y* de* la* tierra*, y* que* en* Jesucristo*, su* único* Señor* nuestro*, 257. que* fue* concebido* por* obra* (y* gracia*) del* Espíritu* Santo*;/ 258. nació* de* Santa* María* Virgen*, 259. padeció* bajo* el* poder* de* Poncio* Pilato*, 260. fue* crucificado*, muerto* y* sepultado*./ 261. Descendió* entre* los* infiernos*, 262. Al* tercer* día* resucitó* entre* los* muertos*, 263. subió* a* los* cielos*. 264. Está* sentado* en* la* diestra* de* Dios* Padre*/ Todopoderoso*, 265. y* desde* allá* ha* de* venir* a* juzgar* a* los* vivos* y* a* los* muertos*. 266. Creo* en* el* Espíritu* Santo*, en* la* Santa* Madre* Iglesia* Católica*/, la* Comunión* de* los* Santos*, el* perdón de* los* pecados*, la* resurrección* de* la* carne* y* la* vida* perdurable*. Amén*./

267. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*. 268. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./

[La Salve]
269. Salve,/ salve, regina mater misericordia./ 270. A ti penosa, salve,/ a ti clamamos./ 271. A ti suspiramos, clemente lagrimarovalle,/ clemente lagrimarovalle. 272. Oh, wiltritri, oh Virgen, dulce María*./ 273. A ti penosa, salve,/ a ti clamamos./ 274. Oremos./ 275. Et cruz, caro perdón, Cristo perdón. Domino nostro. Amén*./

276. En* unión* de* todos* los* santos y* santas* de* Dios*. 277. Esta* bendición* de* Dios*/ ku p'aata(l) tu k'aaba' bakaane' treinta* y* cuatro* hermanos*o'obe, Padre* mío*./ 278. Teech bakaan bin a ki' si'ihten (l)e santo* bendición* [...] tu hermano* yéetel (l)e bendición* k k'áat beetik

tio' le santo* xunáan ha' k t'aanik bakaana', in yuumen./ 279. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*. 280. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./

281. Adórote*, Santa* Cruz* puesta* en* el* monte* Calvario* donde* murió* mi* Jesús*/ de* pies* y* manos* clavado*. 282. Adoremos* el* Cristo* y* bendicimos* que* por* su* santa* cruz*. 283. Redimiste* al* mundo* a* mi* pecador*./ 284. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*. / 285. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*./

286. Rogamos* del* Señor*. 287. Infundes* tu* gracia* de* nuestros* entendimientos*/ antes* bien* librados*. 288. Oh*, Virgen* gloriosa* y* bendita*./ 289. Ruega* por* nosotros*, Santa* Madre* de* Dios* para* que* seamos* dignos* de* alcanzar* las* promesas* y* gracias* de* nuestro* Señor* Jesucristo*. Amén*./ 290. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*. 291. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*.

292. Oh*, Señor*, derramad* nuestros*(sic) bendiciones* a* nuestros* hermanos*.

[El Padre Nuestro]

293. Padre* nuestro* que* estás* en* los* cielos*, santificado* sea* tu* nombre*./ 294. Vénga* a* nos* el* tu* reino*. 295. Hágase*, señor*, tu* voluntad* aquí* en* la* tierra* como* en* el* cielo*. 296. Dános* hoy* nuestro* pan* de* cada* día*, 297. perdónanos* nuestras* ofensas* como* también* nosotros* perdonamos* a* quien* nos* ofende*./ 298. No* nos* dejes* caer* en* la* tentación*, y* líbranos*, señor*, de* todo* mal*. Amén*./

299. La* bendición* de* Dios* Padre* Todopoderoso*/ ku p'aata(l) tu k'aaba tuláaka(l) hermanos*o'ob yéetel hermanas*o'ob, in yuumen./ 300. En* el* nombre* del* Padre* del* Hijo* del* Espíritu* Santo*./ 301. Dios* por* todos* los* siglos* de* los* siglos*. Amén*./

302. Buenas* tardes*.

4.3.4 「料理祭壇」の祈禱（日本語訳）

1．父と子と聖霊のみ名によって。

2．我が主、神にして人間のイエス・キリスト、真なる創造主、我が救い主よ、汝にして我なり、我すべてを愛せしなれば。3．我を苦しませ給え、主よ。我、他人を傷つけたればなり。4．我改心することを、告白することを強く誓わん。5．汝、かつてその神聖なるみ心、深きお慈悲によりて、償いを［授け給えり］。6．願わくは汝の貴きみ血にて罪を許されんことを。7．さらなる罪を犯すことなきよう恩寵を授け給え。願わくは、汝の聖なる愛とみ救いの、我が命の尽きるまで続かんことを。アーメン。8．父と子と聖霊のみ名によって。9．世々にいたるまで。アーメン。

10．ご機嫌あれ、神々よ。11．我語らんとす。父と子と聖霊様。12．我、黒き土地のぬしのみ台の前に跪かんとす。13．よりて、我、祝福を求めんとす。14．よりて、我、聖なる奇跡に跪くなり。15．よりて、我涙もて聖なる美しき水を求めんとす、我が主よ。16．これ、祝福を求めんがためなり。17．聖なる土地の我ら兄弟たちが求めんとする祝福なれば。18．よりて、我ら聖なる美しき水を求めんとす。19．我語らん。我が父よ。

20．我語らん。天頂の東の風、北の風、西の風、南の風に。美しき聖母サンタ・マリア様。21．我語らん。聖サクラメント様。22．我語らん。すべての聖人、すべてのイーク様。23．主と子と聖霊のみ名によって。24．父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。25．世々にいたるまで。26．父と子と聖霊様。

27．聖なるバルチェを差し出さんがため、我、雲浮ぶ高き空の四隅のすべてのイーク様に語らん。28．我語らん。すべての聖人とすべてのイーク様。29．父と子と聖霊のみ名によって。

30．我跪きて語らん。ママ村の美しき聖母様。31．我貴女様に語らん。美しき被昇天の聖母様、美しき聖母エストレージャ様。32．我語らん。聖ベルナルディーノ様。33．我語らん。聖ベルナルド様。34．我語らん。聖ビセンテ様、聖マルティン騎士様、聖エウスタキオ・ブエナベントゥーラ様、聖ロレンソ様。35．我語らん。永遠なる父、40時間様。36．我跪かん。神々しき世界の救世主。37．我語らん。山々のサン・ホセ様。

38．我、汝に語らん。我が父よ。39．汝、我らに聖なる祝福を授け給え。40．我跪かん。雲浮ぶ高き空の四隅。41．我語らん。42．父と子と聖霊のみ名によっ

て。43．父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。44．世々にいたるまで。アーメン。45．父と子と聖霊様。

46．我処女なる祝福を求めん。よりて、我聖なる美しきサカを差し出すなり。我が父よ。47．よりて、我涙もて聖なる美しき水を求むなり。48．我語らん。シュ・キリーン・チャーク、シュ・ティキン・ノーコイ、シュ・アール・カブ・ムーヤル・イーク。49．彼こそはシュ・カーン・イーク。彼こそ、我祝福を求めんがため語らんとするものなり、我が主よ。50．父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。51．世々にいたるまで。52．父と子と聖霊様。

53．我、聖なるトリを差し出すなり。54．これ、我涙もて聖なる美しき水を求むなればなり。我が父よ。55．我美しきイークに語るは聖なる美しき水のためなり。56．我語るは差し出さんとする聖なる供物のためなり。57．これ、我ら兄弟が願いて差し出さんとするものなり。我が父よ。58．我らに祝福を授け給え。我が主よ。59．父と子と聖霊のみ名によって。

60．我語らん。聖フランチェスコ様、聖イシドロ様、聖アントニオ様、聖ヨハネ様、聖ペテロ様、聖パウロ様。61．我語らん。ガスパール様、メルチョル様、バルタサル様、主サンティアギート様、聖徒サンティアギート様、ハラチョのサンティアギート様。

62．我、汝に語らん。我が父よ。63．よりて、我心より真なる口すなわち聖なるみ台の入り口に語るなり。我が主よ。64．よりて、我語らん。すべてのイーク様。65．我語らん。よりて、我跪くなり。66．父と子と聖霊のみ名によって。

67．我語らん。すべてのイーク様、[...] のみ名において、雲浮ぶ高き空の四隅に住まうイークたち。東のイーク、北のイーク、西のイーク、南のイーク。68．我語らん、我が主よ。すべての聖人様のみ名において、すべてのイーク様のみ名において。69．我語らん。すべての兄弟の名において、我が主よ。70．この聖なる場所において、我涙もて聖なる美しき水を願うものなり、我が父よ。71．我跪きて語らん。雲浮ぶ高き空の四隅。72．我語らん。すべての聖人様のみ名において。73．父のみ名において、子のみ名において、聖霊のみ名において。74．父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。75．世々にいたるまで。76．父と子と聖霊様。

77．よりて、我跪かん。黒き土地のぬしのみ台のみ前に。我が父よ、78．我跪かん。美しき聖母サンタ・マリア様、聖サクラメント様の天国の入口なれば。79．我語らん。我語らん。聖イグナシオ様。80．我語らん。聖ヨアキム様、聖アナ様。81．我語らん。幼児イエス様。82．我語らん。40時間様。83．我跪き

て処女なる祝福を求めんとす。84．父と子と聖霊のみ名によって。85．父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。86．世々にいたるまで。アーメン。

87．天にまします我が主よ。その偉大なる右の手に、我が主よ。我すべてのイーク様に語らん。88．我、繰り返し語らん。イーク様。89．我、求めん。雲浮ぶ高き空の四隅。90．よりて、我跪きて語らん。91．父と子と聖霊のみ名によって。

92．我語らん。偉大なる君主様、天使聖ガブリエル様、聖大天使ミカエル様、聖ラファエル・ブエナベントゥーラ様、聖ロレンソ様。93．我、汝に語らん。汝の祝福の得られんことを。我が父よ。94．すべてのイーク様のみ名において、すべてのチャーク様のみ名において。95．我跪きて語らん。96．父と子と聖霊のみ名によって。

97．我語らん。美しき聖母聖トリニダー様、聖マグダレーナ様、聖イサベル様、聖マルタ様、聖リタ様、聖リブラーダ様。98．我語らん。美しき聖母永遠なるみ救い様。99．我語らん。聖十字架様。100．我語らん。健康の主、雨の主。101．我、汝に語らん。我が父よ。102．汝、我らに聖なる祝福を授け給え。103．父と子と聖霊のみ名によって。

104．我語らん。キリストの御心臓、マリアの御心臓、御心臓。105．我、汝に語らん。我が父よ。106．我語らん。聖サクラメント様。107．我らを憐れみ給え。108．我語らん。美しき聖母聖マリア様。109．我らを憐れみ給え。110．我語らん。美しき聖母グアダルーペ様。111．我らを憐れみ給え。112．グアダルーペ聖マリア様、我々の希望、我らの国を救い給え。113．我らの誓いを聞き給え。114．父と子と聖霊のみ名によって。115．世々にいたるまで。116．父と子と聖霊様。

117．我跪きて涙もて求むなり。聖なる美しき水。118．これ、我ら兄弟が求めんとする水なり。我が父よ。119．美しき聖母聖マリア様、我祈りを唱えん。聖サクラメント様。

120．我跪かん。東のイーク、北のイーク、西のイーク、南のイーク。121．これ、すなわち、我語らんとするものなり。122．よりて、我、処女なる祝福を求めんとす。我が主よ。123．我語らん。124．我ら、いつもの如く語らん。美しき聖母聖マリア様の美空、東のイーク、東のイーク、黒き土地のぬしの美空。125．我語らん。黒き土地のぬし、アール・カブ・ムーヤル・イーク。我が主よ。

126．我語らん。北に。北のイーク、旋風のイーク、スフイ・イーク。127．我語らん。シュ・カナン・アークトゥン・イーク。128．オトッチ・ムール・イー

ク、道を守るイーク、森を守るもの、囲い柵を守るもの、オトッチ・ベール・イーク、彷徨き回るイーク。129．これ、すなわち、我語らんとするものなり。雲浮ぶ高き空の四隅のアール・カブ・ムーヤル・イーク、シュ・ヤーシュ・カーン・イーク、シュ・キリン・チャーク。

130．我語らん。すべてのイーク様。131．よりて、我語らん。西のイーク、アルーシュ・イーク、バラム・イーク、バタン・イーク、チーバル・イーク、オショル・イーク。我が主よ。132．オショル・イークによりて、聖なる美しき水の我らに恵まざるなれば、我が父よ、133．聖なる美しき水を得んがため、我、聖なる冷たき水、聖なる飲み物を差し出さん。134．これ、我涙もて求めん水なれば、我が主よ。135．我に祝福を授け給え、我が父よ。136．すべての聖人様、すべてのイーク様のみ名において。

137．我語らん。南のイーク。南のイーク、西のイーク。138．これ、すなわち、我語らんとするものなり。これ、南のイーク、ヤーシュ・パール・イーク、チュームク・パール・イーク、シュ・トゥープ・イークなり。139．アー・カナン・ホーヤブ様、黒き土地のぬし様、シュナーン・イーク、バラム様、バタン・イーク。

140．これ、すなわち、我語らんとするは、今、聖なる水曜日なり。我が主よ。141．これ、我、汝らにみ救いを求めんとするものなり。142．これ、我、聖なるユニットの真ん中にて祝福を求めんとするものなり。143．そこより、我、聖なる美しき水を差し出さん。我が主よ。144．我、汝らに語りし聖なる美しき水。これ、我らがチャ・チャークと呼ぶものなり、我が主よ。145．我に祝福を授け給え、我が主よ。146．父と子と聖霊のみ名によって。147．父と子と聖霊のみ名において。148．世々にいたるまで。149．父と子と聖霊様。

150．我跪きて、我聖なる供物を差し出さん。我が父よ。151．我聖なるサカを供えたり。152．我聖なるバルチェを供えたり。153．我聖なるトリ、聖なるノー・ワー、メーヘン・シュ・ノーシュ、聖なるソパを供えたり。154．我供えん。雲浮かぶ高き空の四隅。155．そこ、我語らんとするところなり。156．父と子と聖霊様。我が主よ。

157．我苛立ちて繰り返さん。我がイーク様。158．我静まりて繰り返さん。雲浮ぶ高き空の四隅。我がイーク様。159．これ、我み救いを求めしところなり。160．これ、我祝福を求めしところなり。161．これ、我跪くところなり。162．我ら34名の兄弟、喜びて求むものなり。我が主よ。163．よりて、我語らん。聖なるユニットの聖なるチャ・チャーク、聖なるロー・チャーク。これ、我語

るものなり。164．我跪かん。165．父と子と聖霊のみ名によって。166．父に栄えあれ、子に栄えあれ、聖霊に栄えあれ。167．世々にいたるまで。アーメン。

〔朗唱〕
168．いと高きなるかな、かの家は。美しきバラム、美しきバラムの家。169．我語らん。黒き土地のぬしの美しきバラム。170．我語らん。我が主よ。171．我跪かん。172．我語らん。東のイーク、北のイーク、西のイーク、南のイーク。我が主よ。173．我語らん。174．我語らん。黒き土地のぬし様、東のイーク、黒き土地のぬし。175．我語らん。我が主よ。176．我跪かん。我祈りを唱えん。177．我語らん。西の、北のイーク、北のイーク、旋風のイーク、スフイ・イーク、カナン・アークトゥン・イーク、オトッチ・ムール・イーク、黒き土地のぬし、カナン・コラル・イーク、カナン・ベー・イーク。178．我語らん。カナン・カーシュ・イーク。我が主よ 179．我語らん。西のイーク、アルーシュ・イーク、バラム・イーク、バタン・イーク、チーバル・イーク、オショル・イーク。180．我語らん、我が主よ。181．我跪かん。南のイーク、シュ・ヤーシュ・パール・イーク、シュ・チュームク・パール・イーク、シュ・トゥープ・パール・イーク、カナン・ホーヤブ、黒き土地のぬし、シュナーン・バラム・カン・イーク。我が主よ。182．我語らん。183．父と子と聖霊様。

184．父と子と聖霊のみ名によって。185．世々にいたるまで。186．父と子と聖霊様。

187．我求めんとす。聖なる祝福。我が主よ。188．これ、我喜て涙もて汝らに求めんとする聖なる美しき水なり。189．今日、聖なる水曜日なり。我が主よ。190．よりて、我み救いを求めんとす。191．よりて、我祝福を求めんとす。〔不明〕、雲浮ぶ高き空の四隅の聖なる美しき水の我らに授けられんことを。

192．我語らん。すべてのイーク様、東のイーク、北のイーク、西のイーク、南のイーク。我が主よ。193．今、聖なる水曜日の午後、聖なる4時を回りしところなり。我が父よ。194．我繰り返さん。すべてのイーク様、我語りし東のイーク。195．我語らん。聖なるバルチェをもちて。我が主よ。196．我繰り返さん。イーク様。197．父と子と聖霊様。

198．我語らん。美しき聖母聖トリニダー様、聖マグダレーナ様、聖イサベル様、聖マルタ様、聖リータ様、聖リブラーダ様。199．我あなた様に語らん。我

が母よ。200．我らに恵み給え、聖なる祝福と聖なる美しき水。201．ここ聖なるユニットの真ん中にて、我喜びて聖なる供物を差し出すなり。202．よりて、我祝福を求むなり。我が主よ。

203．我語らん。北のイーク、旋風のイーク、シュ・スフイ・イーク、シュ・カナン・アークトゥニル・イーク、オトッチ・ムール・イーク、シュ・カナン・ベー・イーク、うろつき回るイーク。204．これ、我語りしは聖なる美しき水がためなり。205．我涙もて求めん。雲浮ぶ高き空の四隅のヤーシュ・カーン・イーク、シュ・アール・カブ・ムーヤル・イーク、シュ・キリン・チャーク。206．我喜びて聖なる水の聖なる供物を供えん。我が主よ。207．我静まりて繰り返さん。雲浮ぶ高き空の四隅に。

208．我語らん。西のイーク、アルーシュ・イーク、バラム・イーク。209．バタン・イーク、チーバル・イーク、オショル・イーク。これら熱すれば、我らに喜びて聖なる美しき水を恵まざるなり。我が主よ。210．我静まりて繰り返さん。西の風。

211．我語らん。すべての聖人様。212．我語らん。聖イグナシオ様、聖ホアキン様、聖アナ様。213．我語らん。幼児イエス様。214．我語らん。カベサ・コロナド様、聖大天使ミカエル様、ロガレーモス様、40時間様。

215．我繰り返さん。雲浮ぶ高き空の四隅。216．我語らん。南のイーク、シュ・ヤーシュ・パール・イーク、シュ・チュームク・パール・イーク、シュ・トゥープ・パール・イーク、カナン・ホーヤブ様、アー・カナン・カーカブ様、シュナーン・イーク、バラム様。217．我語らん。アルーシュ・イーク、バタン・イーク。218．我語らん。アルーシュ。219．我語らん。我静まりて行なわん。雲浮ぶ高き空の四隅のイーク。

220．我語らん。美しき聖母聖トリニダー様、聖マグダレーナ様、聖イサベル様、聖マルタ様、聖リータ様、聖リブラーダ様。221．父と子と聖霊のみ名によって。222．世々にいたるまで。223．世々にいたるまで。

224．天にましまし神よ、その偉大なる右の手に、我が主よ。225．我静まりて行なわんとす。雲浮ぶ高き空の四隅のイーク様。226．これ、我涙もて聖なる美しき水を求めんがためなり。227．我祈らん。すべての聖人様とすべてのイーク様。我が主よ。228．父と子と聖霊のみ名によって。229．世々にいたるまで。230．父と子と聖霊様。

231．我繰り返さん。雲浮ぶ高き空の四隅のイーク様に。232．聖なる[...]、午前6時、我ら苛立ちてイーク様に祈りしが、233．午後4時半、我静まりてす

べてのイーク様に行なうなり。234．我ら涙もて聖なる美しき水を求むなり。我が主よ。235．父と子と聖霊のみ名によって。236．父と子と聖霊のみ名によって。237．世々にいたるまで。アーメン。

〔朗唱〕
238．皆で歌わん、愛の歌を。239．皆で歌わん、神の名に。240．ここに集り来たらん、礼拝者たちよ。241．皆で礼拝せん、救い主キリストを 242．イエス・キリストに栄えあれ。243．天と地において。244．主に祝福されし、イエス。245．汝に誉れと栄えあれ、汝天国の王なれば。246．汝に永遠の愛あれ、汝愛の神なれば。

247．父と子と聖霊のみ名によって。248．世々にいたるまで。249．父と子と聖霊様。

250．我、祝福を求めんとす。我が父よ。251．聖なるユニットの 34 名の我ら兄弟が涙もて求めし聖なる美しき水の授けられんことを。わが主よ。252．これより 1 年経ちて再び、我が主よ、253．我再び語らん。すべてのイーク、聖なる土地のイーク、聖なる美しき水を。254．これ我語るものなり。255．父と子と聖霊のみ名によって。

〔使徒信条〕
256．われは天地の創造主、全能の父なる天主を信じ、またそのおん独り子、われらの主イエズス・キリスト、257．すなわち、聖霊によりて宿り、258．童貞マリアより生まれ、259．ポンシオ・ピラトの管下にて苦しみを受け、260．十字架につけられ、死して葬られ、261．古聖所にくだりて、262．三日目に死者のうちよりよみがえり、263．天にのぼりて、264．全能の父なる天主の右に座し、265．かしこより、生ける人と死せる人とを裁かんために来たりたもう主を信じたてまつる。266．われは聖霊、聖なる公教会、諸聖人の通功、罪のゆるし、肉身のよみがえり、終わりなきいのちを信じたてまつる。アーメン。

267．父と子と聖霊のみ名によって。268．世々にいたるまで。アーメン。

〔聖母マリアを讃える祈り〕

269. 救い給え、救い給え、憐れみの母よ。270. 貴女様痛ましく思うなれば、救い給え。我ら貴女様におすがりするなれば。271. 貴女様の下で嘆きます。慈悲深きお方なれば、慈悲深きお方なれば。272. ああ、〔不明〕、ああ、優しき聖母マリア様。273. 貴女様痛ましく思うなれば、救い給え、我ら貴女様におすがりするなれば。274. 皆で祈らん。275. Et cruz caro perdón. Cristo perdón. Domino nostro. アーメン。

276. 神なるすべての聖人聖女のみ前にて。277. 願わくは神の祝福の、我ら34名の兄弟の名において取り分けられんことを、我が父よ。278. 汝、我に聖なる祝福を授け給え。[...] これ、聖なる美しき水を得んがため欲する祝福なれば、我ら語りしものなり。我が主よ。279. 父と子と聖霊のみ名によって。280. 世々にいたるまで。280. 世々にいたるまで。

281. 汝を崇むなり。我がキリストが手足を打ちつけられて死に給いしカルバリオの丘の聖なる十字架を。282. 皆でキリストを崇めん。聖なる十字架によりて祝福されん。283. 汝この世に我が罪人を救いしなり。284. 父と子と聖霊のみ名によって。285. 世々にいたるまで。

286. 我ら主に祈らん。287. 汝の恵み授け給え、されば我ら悟りて救われん。288. ああ、神々しき清らかなる聖母様。289. 我らのために祈り給え、神のみ母よ。我らの主イエス・キリストの約束とみ救いを得られんがため。290. 父と子と聖霊のみ名によって。291. 世々にいたるまで。アーメン。

292. ああ主よ、我らの祝福を我ら兄弟に撒き給え。

〔主の祈り〕

293. 天にましますわれらの父よ、願わくは、み名のとうとまれんことを。294. み国の来たらんことを。295. み旨の天に行なわるるごとく、地にも行なわれんことを。296. われらの日用のかてを、今日われらに与えたまえ。297. われらが人にゆるすごとく、われらの罪をゆるしたまえ。298. われらを試みに引きたまわざれ。われらを悪より救いたまえ。アーメン。

299. 願わくは父なる全能の神の祝福の、我ら兄弟姉妹の名において取り分けられんことを、我が主よ。300. 父と子と聖霊のみ名によって。301. 世々にいたるまで。アーメン。

302. ご機嫌よう（こんにちは）。

5　考察―2つのチャ・チャーク儀礼の比較

次に、本稿で紹介した2つの事例の比較から、ユカタンにおけるチャ・チャーク儀礼の特徴を再検討するとともに、今後の調査研究において注意すべき問題点を明らかにしておきたい。

ティムクイ村とサント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャーク儀礼は、2章で紹介したチャ・チャークの一般像と比較したとき、参加者の構成、女性の扱い、儀礼が行なわれる場所、儀礼に用いられる水や供物の入手方法、調理される供物の内容、カエルの鳴きまねなどの儀礼的パフォーマンス、祈禱の内容などにおいて明らかな違いが見られる。そこで、まずこれらの相違を改めて整理してみよう。

5.1　参加者

ユカタン・マヤの農村を取り巻く社会的経済的な環境が、メキシコ革命、さらには1970年代から始まったカリブ海沿岸の国際リゾート開発によって大きく変化する中で、トウモロコシ栽培だけを生活の糧とする人々は減少してきた。人口増加や作付け面積の拡大などから土地不足が深刻化し、またその結果として森の放置年数が短縮され単位面積当たりの生産量も低下した。こうして、トウモロコシ栽培だけで生活できなくなった多くのユカタン・マヤの農民が賃金労働者となった。彼らは大挙して州都メリダやカリブ海沿岸のリゾート地に出稼ぎに出るようになったのである。その分だけ雨乞いを行なう必要のある農業従事者の割合は低下したことになる。

従来、チャ・チャークは村の共同作業として行なわれるものであるとみなされてきた。しかし、それは村の住民全員が焼畑によるトウモロコシ栽培を生業としていることを前提としたものである。現在のように多くの人が農業から離れてしまった状況では、チャ・チャークを村全体の共同作業として行なうことはもはや不可能であると考えてもいいだろう。実際、チャ・チャークが村の住民全員の参加の下で行なわれている事例の報告は非常に少なくなっている。チャン・コム村においてさえ、今では村人全員の参加によるチャ・チャークは行なわれていない（cf. Re Cruz 1996）。こうした変化はほとんどのユカタン社会がもはやかつてのような共同体的な社会ではなくなったことを一面において示すものである。しかし、そのことはチャ・チャークが共同作業による儀礼でなくなったことを意味するわけではない。ましてや、村内部における社会関係

の構築に関わらなくなったわけでもない。

かつてチャ・チャークが村の住民全員の共同作業であり得たのは、必ずしもチャ・チャークが村の共同事業であるがゆえに住民に対して参加の義務が生じていたからではない。むしろ、住民全員がトウモロコシ栽培（その農作業のプロセスの中での灌漑）という、ある種の自然観・世界観に支えられた農作業を共有していたからである。その意味では、村の住民の全員参加という形態は、農作業あるいはそれを支える自然観を共有する集団のメンバーがチャ・チャークに参加することの結果に過ぎない。サント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャークにおいてプロテスタントを除く組合員の全員が参加していたことは、まさにチャ・チャークがこうした農業・自然の共有を基礎に行なわれることを示している。また、今日では村の東西南北のある特定の方角にミルパを作っている人々だけが集まってチャ・チャークを行なうような事例もかなりの程度で存在する。本来、雨が均質に降らないというユカタン半島の自然条件の下では、農作業は必ずしも村単位で共有されるものではない。村の領域よりもさらに狭い特定の範囲で農業・自然を共有する集団が存在しても決して不思議ではない。

つまり、チャ・チャーク儀礼はユカタンという地理的広がりにおいて農作業を中心に形成された共同体的世界の存在証明である。少なくともチャ・チャーク儀礼の分析において、チャ・チャークを行なう集団は結果論として共同体的であると言えるに過ぎない。その集団が常に村という集団と同一でなければならない必然性はない。仮にそれらが一致しているとすれば、それは双方を一致させようとする社会的あるいは政治的な意図が働いたからに他ならないはずだ。

したがって我々は、チャ・チャーク儀礼を社会的な現象として捉えようとするとき、チャ・チャークに人々が集まった結果としてある集団が表出することと、その集団が既存の集団として語られることとを区別して考えなければならない。ここでは仮に前者をチャ・チャーク共同体、後者を村落共同体と呼んでみよう。チャ・チャーク共同体は本来雨をめぐる神との契約関係において存在するものである。すなわち、神に雨乞いをしようとする者だけが参加する。それなのに、チャ・チャークが村落共同体の論理で語られているとすれば、そうした語りそのものが高度に社会的・政治的な判断によるものであると言わざるを得ない。

昨今、農作業のプロセスを共有する人々が減少していく中で、農作業とは関係ない職業を持った人たちがチャ・チャーク儀礼に参加する事例が報告されて

いる。こうした例は、チャ・チャーク儀礼を実施する論理が自然観の共有というチャ・チャーク（雨乞い）共同体の論理よりも、村落共同体をめぐる社会的・政治的な論理が重要性を帯びるようになったことを示すものである。たとえば、マース・コーリ（1991）の報告するソトゥータ村では、農作業に従事することのない賃金労働者がチャ・チャークに参加している。また、チャ・チャーク儀礼を行なうためにはかなりの経済的出費が必要となるが、ある事例では費用の一部を出稼ぎに出ている家族の援助に頼っているという。家族であるとは言え、その出稼ぎ者は少なくとも現時点においては農作業に従事しない賃金労働者であり、チャ・チャークを必要とする農作業のプロセス世界を共有していない。彼らのチャ・チャーク儀礼への資金提供はおそらく家族間の社会的な関係に規定されたものである。だがそれは同時に、異文化社会への出稼ぎ者がチャ・チャーク儀礼を自らの文化的・民族的アイデンティティの拠り所の一つとみなしているからでもあるはずだ。そして、このことは家族ではない非農業従事者にも同様に言えるはずである。

たとえば、マース・コーリは、チャ・チャーク儀礼を通じてソトゥータ村の人々は自らが属す集団の世界観を表現しようとしているだと言う（Maas Colli 1991：72）。またそうした儀礼への参加を通じて、ソトゥータ村の人々はソトゥータ村の住民（sotuteño）であるという意識を再確認しているのだと主張する（Ibid.）。マース・コーリにとってソトゥータ村は自分が生まれ育った故郷であり、また彼女自身メリダ市に住みソトゥータ村に度々帰省していることを考えると、こうした主張は自らのアイデンティティをめぐるマース・コーリ自身の心理的な葛藤ないしは願望を表わしていると見ることも可能である。しかし、そうであれば余計に、彼女の意見はソトゥータ村を離れたソトゥータ村の人々（sotuteños）の意識を代表するものとして、チャ・チャーク儀礼に対するソトゥータ村の人々の考え方を内部から示したものだと言えよう。すなわち、非農業従事者のチャ・チャーク儀礼への参加は、この場合は農作業の世界観に基づいたものというよりは、ソトゥータ村の人々が共有すべき世界観の中で行なわれるものであるという政治的な読み替えの作業が行なわれていることを示すものである（cf. Maas Colli 1991：82）。

ティムクイ村の場合にも、おそらくソトゥータ村と同じことが言えるであろう。ティムクイ村には焼畑に適した農地が少ない上、州都メリダに近いため、多くの人が賃金労働者として働きに出ている。多くの人が農作業から離れてしまったにも関わらず、チャ・チャーク実行委員会は依然として村全体にチャ・

チャーク儀礼への参加を呼びかけてまわる[49]。実際、招待された非農業従事者のどれだけの人がチャ・チャーク儀礼に参加しているのか、筆者は具体的な数値を持ち合わせてはいない。しかし、チャ・チャーク実行委員会のこうした村全体への呼びかけは、村人が職業に関係なく参加する可能性があることを前提としたものであるはずだ。また逆に、実行委員会はチャ・チャークを農業従事者のためのものとして非農業従事者をそこから排除しようとはしていない。むしろ、彼らは自分たちが組織しているチャ・チャーク儀礼はティムクイ村のチャ・チャークであると主張するのである。今回の調査ではそうした主張の背後にある政治的意図にまで立ち入ることはできなかったが、ティムクイ村でもチャ・チャークはもはや農業従事者だけの手によって行なわれるものでないことだけは確かである。

5.2　雨乞いの目的

チャ・チャークは字義通りに解釈すれば神々に対して雨を乞う儀礼である。実際、フ・メンの祈禱にはそのことが明確に表現される。たとえば、ティムクイ村のチャ・チャークを行なったオノーリオ・チャレーは「料理祭壇」の祈禱で、「涙もて空（天）の雫を求めん（ok'ol maatik u ye'ebil ka'an[Gloria]」（8，9，35，36，144，175)、「願わくは、天の雫のもたらされんことを(ku ki' taasa'al u ye'ebil Gloria)」(142)、「願わくは、ミルパに喜びもて雫の撒かれんことを（ku ki' hooya'ta'al le pete' koolo'ob)」(146）とチャ・チャークの目的を明確に言い表わしている。また、サント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャークを行なったフェリペ・マンリケも、「涙もて聖なる美しき水を求めん（ok'ol t'aantik[k'áatik] santo xunáan ha')」(14，18，47，54，55，70，117，133-4，144，188，204，226，234，251，278)、「聖なる美しき水を授けたまえ（si'ihbito'on le santo xunáan ha')」(191，200）と繰り返し雨乞いの祈りを行なっている。

ところが、なぜチャ・チャークを行なうのかという問いに対しては、雨乞いとは違った別の理由が挙げられることがある。フェリペ・マンリケはチャ・チャークを行なう理由について「チャ・チャークをしないと畑に蛇が出るからだ」、と儀礼の最中に筆者に説明した。またマース・コーリは、チャ・チャークは単なる雨乞いだけでなく作物の収穫と人々の健康を祈願したものであると述べている（Ibid.：62-63)。雨乞いという明確な意味付けが行なわれた儀礼になぜこうした別の解釈が付け加えられるのか。この問題を考えるためには、チャ・

チャークを灌漑という農作業の限定された局面だけではなく、ユカタン・マヤの農民にとって農作業とは何か、また農作業における儀礼とは何かという観点から考え直してみる必要がある。

サント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャークは1995年には時期的にかなり遅れて行なわれた。乾期ももうすでに終わろうとしており、雨乞いという意味では多少時期を外していた。サント・ドミンゴ果樹園の主要作物であるオレンジは雨期（4～5月）とともに開花し、9月頃から収穫が始まる。つまり、チャ・チャークが行なわれた時点では、オレンジはもうほとんど熟していたのであり、その時点で差し迫った危機としての旱魃が予想されていたわけではなかった。もちろんだからと言って、サント・ドミンゴ果樹園の人々は灌漑という農作業における不測の危機から解放されたわけではない[50]。仮に翌日から雨が降らなくなれば、果実の収穫はできたとしても、オレンジの木に対する被害が生じて、翌年の収穫に影響が及ぶかもしれない。つまり、雨は彼らが果樹園で農作物を栽培する限りにおいて彼らに付きまとう問題である。旱魃に対する解釈がここまで拡大されるとすれば、それはもはやチャ・チャークが単なる水不足という問題への対処ではなく、不測の危機一般の領域に踏み込んだものであることになる。

これはあくまで分析者側の解釈であって、ユカタン・マヤの人たちの思考のあり方を示すものではない。むしろ、彼らは逆の手順を踏んでいるように思われる。すなわち、旱魃は農作業における不測の事故の一形態に過ぎないと。農作業を行なう上で旱魃の他にも、農機具使用中の事故、病害虫の発生など様々な危険ないしは障害が存在し得る。これらの事故・障害が仮に発生したとすれば、それはカトリック信者であるユカタン・マヤの人々にとってすべて神の御加護が得られなかったことによる災厄ないしは神が下した試練である。

本来は雨乞いという限定された目的の儀礼であっても、儀礼の目的はこうしたユカタン・マヤの災厄観の下で別の不幸へと繋ぎかえられる可能性を常に秘めている。フ・メンがカトリックの栄唱を行なうとき、人々はおそらく個々人のレベルでこうした災厄観の再構築を自動的に行なっているはずである。マンリケの蛇に関する説明は、サント・ドミンゴ果樹園の人々にとって、あの時点では蛇との遭遇が農作業を行なう上で最も注意すべき危険の一つであったことを示したものなのである。

ユカタン・マヤの人々は一般に、農作業つまり土地など自然物の利用はそれらを管理する精霊（神）との契約によって成立すると考える。すなわち、土地

の守護精霊に対して定期的に食べ物を供えないと、作物が育たなくなったり、家畜が死んだり、あるいはそこで働く人間が怪我をしたりするとされる（cf. Hanks 1990：361)。こうした精霊の怒りによる災厄を未然に防ぐために、あるいは事後的に取り除くためにプリミシアと呼ばれる儀礼が行なわれる。家屋の敷地（solar）に対して行なうプリミシアはヘッツ・ルーム *hets' lu'um*、井戸に行なうものはワヒ・チェン *wahil ch'e'en*、家畜囲いに行なうものはワヒ・コラル *wahil corral* あるいはロー・コラル *loh corral* などと呼ばれる。ミルパに対するワヒ・コル（*wahil kool* もしくは *u-haanlil-kool*）も実はこれらと同じ原理で行なわれる。ワヒ・コルは一般に収穫が得られたことに対する感謝を表わすものであると言われるが、病気やけがなどの災厄への遭遇の防止ないしはそれらへの対処としても行なわれることが『チャン・コム』でも報告されている。さらに、雨乞いを目的としたチャ・チャークでさえも、こうした災厄の防止的意味合いを帯びたプリミシアとみなされていることはすでに上に述べた通りである[51]。

つまり、ある年には適度に雨が降ったとしても、その次の年も同じように雨が降るという保証はどこにもない。また、ある年は蛇の数も少なく、農作業で大したけがもせずに済んだかもしれない。しかし、翌年も同じであるとは限らない。そうした不安は、上記の災厄観の下で精霊（神）との更新すべき義務という社会的言説に翻訳される。ある年は不幸に見舞われなかったとしたら、それは精霊から人間の側への贈与が行使されたことを意味する。それにも関わらず人間が精霊への返礼義務を怠ると、後で付けが回ってくることになる。そうした罰としての災厄を回避するために、ユカタン・マヤの農民は農作業の１サイクル毎に、あるいは定期的に精霊への返礼義務としてのプリミシアを行なわねばならないのである。それゆえに、時期的に遅れたとしてもサント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャークは行なわれねばならなかったのだと言えよう。実際、マンリケは祈禱の中で、チャ・チャークが毎年更新していくべきものであることを、「これより１年後に、我再び語らん」(252-3) という表現で言い表わしている。

この精霊（神）との間の常に更新していかねばならない契約は、チャ・チャーク儀礼への参加者たち自身のカトリックという宗教的バックグラウンドからプロメッサとして語られる傾向にある。このプロメッサに関してフ・メンのフェリペ・マンリケは単刀直入であった。チャ・チャークはサント・ドミンゴ果樹園の仲間にとって毎年行なわねばならないプロメッサだ、とフェリペは筆者に

明言したのである。ハンクスのインフォーマントであるフ・メンも同様の考え方を示している。そのフ・メンは「チャ・チャークをやりたかったら、まずどれかの聖人に約束するんだ。[中略] そして、時期が来たら、[中略] それをやるんだ」(Hanks 1991：366) とハンクスに語っている。ハンクスが引用したフ・メンの語りからは、チャ・チャークは具体的にはいつ行なわれるべきものなのか、またそれは雨の有無に関わらず行なうべきものなのかなどは分からない。しかし、そうした情報の欠如は逆に、チャ・チャークが神との契約においてなされるプロメッサであることを強調しているように見える。実際、このフ・メンの言葉を取り上げる中でハンクスは、チャ・チャークは前もってなされた約束（プロメッサ）を成就するために行なわれるものであること、またワヒ・コルとチャ・チャークは同じ年に2つとも行なう必要はなく、いずれか一方を行なえば精霊に対する1ないし2年間分の義務が果されたことになることも述べているのである（Hanks 1991：366)。

ユカタンの人々にとってプロメッサをするという行為は、神に何かの願い事をする際に、その願いが成就された暁には何かの返礼を行なうことを宣言することである。しかし実際には、願いの成就を神に強要するために、本来後から行なうべき返礼（代償の提供）を先に行なってしまう供犠的な様相を帯びることが多い。こうしたプロメッサ慣行の中では、代償の提供が目的の成就のために事前に神に渡される交換物の贈与なのか、目的が成就されたことに対する感謝の印としての返礼なのかの区別は明確ではない。チャ・チャーク儀礼に置き換えれば、チャ・チャークの供物は雨がもたらされることを要求するためのものであるのか、雨がもたらされたことに対する感謝の印であるのかの明確な区別は付け難い。これら2つの意味付けは、チャ・チャークが社会的な言説として語られるコンテクストに応じて使い分けられるとみるべきであろう。すなわち、ある村のチャ・チャークは前者を意図して行なわれ、別の村では後者の意味が強く意識される。また、同じ村でもチャ・チャークが実施される時期によって、意味付けは変わる。さらに同じチャ・チャーク儀礼でも時間の経過の中で異なった解釈がなされる得るはずだ。

5.3　儀礼の演出

ティムクイ村とサント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャークを単純比較したとき、どちらがより伝統的かを判断することは非常に困難である。そもそも両者のチャ・チャークでは、第2章で紹介した伝統的なチャ・チャークの儀礼的特

徴の個々の要素に対する意味付けが同一ではない。サント・ドミンゴ果樹園では、近くにセノーテがないという物理的理由があるにせよ、儀礼で用いる水にさほど関心を払っていない。儀礼に用いられた水は掘っ建て小屋の脇に無造作に置かれたドラム缶と近くの水溜まりから、何の祈禱も行なわれずに無造作に汲まれた。それらは雨水だという理由で儀礼に適するものとみなされているに過ぎない。儀礼水は女性性に触れたものであってはならないという伝統的規範はそこでは重要視されていない。実際、オノリオ・チャレーが祈禱の中で数えきれない程たくさんのセノーテの名前を挙げているのに対し、フェリペ・マンリケは全く言及していない。この事実はユカタン州南部ではチャ・チャークの儀礼水の扱いに対する関心が一般に低いことを物語っている。

ところが一方で、サント・ドミンゴ果樹園ではピブが作られることと料理祭壇の祈禱において子供たちのカエル鳴きパフォーマンスなどが行なわれるという点で、ティムクイ村のチャ・チャークよりも伝統的色彩を色濃く止めているように見える。ティムクイ村でピブが作られていない理由は定かではない。村人の知る限りでは、ティムクイ村では昔からピブは作られていない。また、オノリオ・チャレーも自分が呼ばれていく範囲内でピブが作られるのは見たことがないと言う。しかも、ピブはユカタン南部で作られるものだと彼が断言するところをみると、ユカタン州の北西部ではピブを作る伝統はかなり昔に途絶えたか、あるいはチャ・チャーク儀礼においてピブを作という慣習が元々根づいていなかったのかもしれない[52]。ユカタン・マヤに関する民族学的な研究は従来ユカタン半島の東部を中心としたものであったため、ユカタン北部のチャ・チャークにおいてピブがもともと伝統的なものとして作られていたか否かを民族誌のデータから確認することはできない。

しかし、「料理祭壇」における儀礼的パフォーマンスに関しては明らかな記憶が存在する。子供たちのカエルの鳴き真似がかつて行なわれていたことはティムクイ村の人たち自身が記憶している。そしてそうした記憶に基づいて、最近の子供たちはそういうことをやることを嫌がるようになったのだと説明する。そうした変化の理由は何であれ、その過程で伝統的な要素は確かに失われている。だが、それはティムクイ村の大人たちが、子供たちがカエルの鳴き真似をすることに重要性を感じていないことの表われでもある。

本稿では、伝統とは何か、また人々の生活にそれはどのような意味を持つのかといった理論的枠組みに関わる議論を展開するつもりはない。ただ、伝統的なチャ・チャークの儀礼イメージが民族誌的な知見の中から練り上げられ、ユ

カタン・マヤの伝統として一般に流布した可能性があることを本稿では指摘しておきたい。そうした民族誌的な情報を通じて一般に知られたチャ・チャークの伝統が存在するがゆえに、マース・コリィが主張するようなチャ・チャークを通じたアイデンティティの確認作業が容易に進行し得るのだと言えよう。そういった観点から考えると、サント・ドミンゴ果樹園の人々は伝統というものの扱いにおいて非常に戦略的でさえある。彼らは観客となるべき人を招待し、伝統的とみなされるものを自ら演じているのである。

5.4　女性排除原則

サント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャークにおいて伝統的でないと思われる部分は概して女性性をめぐるものに集中している。しかし逆説的ではあるが、この女性性に関する規範からの逸脱によって、サント・ドミンゴ果樹園の人々はチャ・チャーク儀礼の伝統を演出することに成功しているのである。

サント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャークでは、通常のカテゴリーから言えば儀礼の場であるはずの場所で女性が供物の料理を行なった。こうした女性の参加は2つの点で前編の2章で詳述した儀礼の場における女性排除の原則に反するものである。まず第1に、通常のチャ・チャーク儀礼では供物を調理する場所は儀礼の場であるはずだが、サント・ドミンゴではこの調理の場への女性の立ち入りが許された。そして第2に、本来男性だけで行うべき供物の調理のほとんどを女性が行なったことである。儀礼の過程へのこのような女性の参加は、通常の基準からすれば、儀礼の場への女性の立ち入りとみなされるはずである。この点に関してティムクイ村の場合は厳格であった。しかしながら、サント・ドミンゴ果樹園の場合においても、実は女性は儀礼の場およびプロセスのある特定の部分からは排除されている。女性たちは掘っ建て小屋から祭壇のある東側へ立ち入ることはなかっ

写真8　供物の調理をする女性

た。また供物の調理においても女性はトリの羽むしりからスープの味付けまで、またバセ作りを担当したが、バセを重ねてピムにしたり、焼き上がったピブを砕いてヤチにしたりするのは男性の分担であった[53]。つまり、儀礼の場の設定の基準が通常の場合とは異なるだけで、サント・ドミンゴ果樹園の場合においても儀礼のある特定の領域から女性を排除する原則は依然として存在しているのである。

だとすれば、サント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャーク儀礼において、通常の意味における儀礼の場は掘っ建て小屋から東側とピブ用の地炉の周辺ということになる。だが、サント・ドミンゴ果樹園の人々にとっての儀礼の場はそこだけではないはずである。おそらく彼らにとって、女性が調理を行なった場所もやはりチャ・チャークの儀礼の場であるに違いない。彼らは必ずしも、儀礼的な領域を女性から隔離した空間として設定することで儀礼の正統性を確立しようとしているわけではない。むしろサント・ドミンゴ果樹園の人々は、俗なる要素は不可避なものとして受け入れているように思われる。そこでは、俗なる要素の混入は儀礼的聖性に対する汚染であったとしても、サント・ドミンゴ果樹園のメンバーによる雨乞いという諸精霊との契約を反古にするものではない。諸精霊に対してピブなどの供物を捧げることこそが重要なのであって、その過程で非聖性が混入することはある程度は許容せざるを得ないとみなしているように思われる。つまり、彼らにとって儀礼の聖性は基本的には諸精霊との契約そのものに存在する。敢えて言えば、祭壇等の儀礼的空間はその契約を行なう上での演出にすぎない。伝統に基づいた儀礼を演出する最低限の場でありさえすれば十分なのだと言えよう。フェリペ・マンリケは「形なりにも伝統が受け継がれていくことが重要なのだ」と筆者に語ったが、この言葉はサント・ドミンゴ果樹園の人々にとってのチャ・チャーク儀礼がもはや従来のような儀礼的構造の演出に重きを置くものではないことを物語っている。その意味では、彼らにとって女性の排除という儀礼的構造を最小限に演出する空間全体が儀礼の場なのであって、女性が排除された掘っ建て小屋から東側だけが儀礼の場なのではない。

こうした儀礼の場にあって、女性たちは調理の補助役であるに加えて、女性が排除されるという儀礼的演出を自ら演出する役割を担っている。掘っ建て小屋は横幅 10 m ほどのものであり、祭壇の周りで行なわれる儀礼を女性の目からすべて隠すことはできない。女性たちは、敢えて儀礼の様子を盗み見しようとしなくとも自然に目に入ってくるような場所で料理を行なっている。また、

儀礼の分析レベルでは祭壇の目隠しとして機能する掘っ建て小屋も、実際には参加者がハンモックを吊して休憩をとる場所であり、また女性がトウモロコシのマサをこねる際の日除けである。これらの意味において、儀礼的領域からの女性の排除は儀礼全体にとってシンボリックなものであると同時に、女性に課せられた暗黙の社会的規範となっている。筆者が観察した範囲内では、儀礼参加者の大人の女性が小屋の後ろに回ることは絶対になかったし、また彼女らが祭壇の方をじっと見やるようなこともなかった。それは、女性がそうした行動をとることはチャ・チャークの儀礼的規範に反するものだ、と彼女ら自身が自覚しているからである。そうした伝統ないしは社会的規範への従属がメタ儀礼性を意識したものか否かは別として、女性だけが行なう儀礼活動の中で、女性たちは儀礼によって規定された女性性を演じることを自らにも他の女性にも課しているのである[54]。

また、女性の参加は別の意味で伝統の継承に一役買っていることを付け加えて置く必要があるだろう。女性が儀礼の場所に来ることで幼い子供たちも儀礼に参加するようになっている。もちろん、子供たちは常に儀礼の手伝いをしているわけではなく、子供たちだけで遊びまわり、気の趣くままに儀礼の様子を眺めていることがほとんどである。しかしそれでも、自分たちの親が儀礼の準備に真剣になって働いている姿を目の当たりにするのは伝統の継承という点で絶大な効果を持つはずである。ティムクイ村でも子供たちは儀礼の場に顔を出したり、手伝ったりする者もいる。しかし、それはごく限られた少数者である。遊び仲間の子供たちが大勢でやってきて儀礼の様子を見ているということはまずない。むしろ、顔を出したら手伝いをさせられるだけなので行きたくないと思っている子供が多い。ティムクイ村ではチャ・チャーク儀礼の場は子供の遊び場ではないのである。ところが、サント・ドミンゴ果樹園では子供たちは母親に半ば強制的にチャ・チャークの会場に連れられてくる。飽きたからといって家に帰ることもままならず、彼らは一日中チャ・チャーク儀礼の場で遊ばされるのである。そして、飛び回る遊びにも飽きた頃、彼らはカエルの鳴き真似をする遊びに呼び集められる。こうした儀礼の「遊び」を通してサント・ドミンゴ果樹園の子供たちは「伝統」を学び、そしてその「伝統」の演出に一役買っているのである。

5.5　フ・メンの祈禱[55]

本稿で各フ・メンの祈禱を2つずつ取り上げたのは、単にそれらが儀礼の異

フ・メンの祈禱の構成

チャレー（水汲み）	チャレー（料理祭壇）	マンリケ（水祭壇）	マンリケ（料理祭壇）
(1)栄唱[1]	(1)栄唱[1]	(1)信仰告白（スペイン語）[1-9]	(1)信仰告白(スペイン語)[1-9]
(2)祈禱の宣言[2-11]	(2)祈禱の宣言[2-11]	(2)祈禱の宣言[10-17]	(2)祈禱の宣言[10-26]
		(3)祈禱の宣言部[18-24]	
	(3)供物渡し[12-14]	(4)サカ渡し[25-34]	(3)パルチェ渡し[27-29]
(3)パルトロメの呼び出し[12-15]	(4)パルトロメの呼び出し[15-17]		
(4)マヤの聖霊への祈り[16-26]	(5)マヤの聖霊への祈り[18-30]		
(5)祭壇への祈り・雨乞い[27-30]	(6)祭壇への祈り・雨乞い[31-37]		
(6)信仰告白（Ki'ich-kelemと4隅）[31-32]	(7)信仰告白（Ki'ich-kelemと4隅）[38-39]		
(7)聖人への祈り[33-41]	(8)聖人への祈り[40-51]	(5)聖母・聖人等への祈り[35-47]	(4)聖人・聖母への祈り[30-45]
(8)聖母への祈り[42-55]	(9)聖母への祈り[52-66]		
			(5)サカ渡し[46-52]
			(6)トリ料理渡し[53-59]
		(6)イーク・その他への祈り[48-59]	
		(7)聖人への祈り[60-64]	(7)聖人への祈り[60-66]
			(8)イークへの祈り[67-76]
		(8)サカ、ロウソク渡し[65-69]	
		(9)諸聖人への祈り[70-81]	(9)諸聖人への祈り[77-86]
(10)チャ・チャーク委員会の紹介[56-65]	(10)チャ・チャーク委員会の紹介[67-78]	(10)聖母等への祈り[82-90]	
(11)カーカプへの祈り[66-68]	(11)カーカプへの祈り[79-81]	(11)イークへの祈り[91-99]	(10)イークへの祈り[87-103]
		(12)聖母等への祈り[100-110]	(11)聖人聖母への祈り[104-119]

		⒀聖母・サクラメント・イークへの祈り[111-115]	
⑿セノーテへの祈り[69-116]	⑿セノーテへの祈り[82-135]	⒁東のイークへの祈り[116-121]	⑿東のイークへの祈り[120-125]
		⒂北のイークへの祈り[122-124]	⒀北のイークへの祈り[126-130]
		⒃西のイークへの祈り[125-129]	⒀西のイークへの祈り[131-136]
		⒄南のイークへの祈り[130-135]	⒁南のイークへの祈り[137-139]
		⒅サカ渡し（招待）[136-143]	⒂聖なる水渡し（チャ・チャークの宣言）[140-149]
			⒃供物渡し[150-156]
			⒄イークへの祈り[157-167]
	⒀朗唱（雨乞い）[136-152]		
⒀朗唱（供物の献納）[117-135]	⒁朗唱（供物の献納）[153-171]	⒆朗唱[144-159]	⒅朗唱[168-186]
			⒆雨乞いの祈り[187-191]
			⒇東のイークへの祈り[192-197]
		⒇聖母・サクラメント・イークへの祈り[160-162]	(21)聖母への祈り[198-202]
			(22)北のイークへの祈り[203-207]
			(23)西のイークへの祈り[208-210]
			(24)聖人への祈り[211-214]
			(24)南のイークへの祈り[215-219]
			(25)聖母への祈り[220-223]
			(26)雨乞いの祈り[224-230]
			(27)雨乞いの祈り[231-237]

			㉘朗唱（スペイン語）[238-249]
			㉙雨乞いの祈り・1年後の予約[250-255]
		㉑使徒信条（スペイン語）[163-175]	㉚使徒信条(スペイン語)[256-268]
		㉒聖母を讃える歌（スペイン語）[176-182]	㉛聖母を讃える歌（スペイン語）[269-275]
		㉓料理祭壇への誘い・祝福を求める祈り[183-196]	㉜雨乞いの祈り[276-280]
			㉝聖史朗誦(スペイン語)[281-285]
			㉞雨乞いの祈り（カトリック、スペイン語）[286-292]
⒁栄唱[136]	⒂栄唱[172]	㉔主の祈り（スペイン語）[197-202]	㉟主の祈り(スペイン語)[293-298]
⒂許しを求める祈り[137-139]	⒃雨乞いの祈り[173-177]	㉕祝福を求める祈り[203-205]	㊱雨乞いの祈り[299-301]

なる局面において行なわれた別個のものであるためだけではない。それらは異なる局面で行なわれる祈禱であっても、実際のところフ・メンの祈禱には儀礼の局面に左右されない共通の部分が多い。それゆえに、今まではその共通する部分が省略されてきたのだと言ってもいい。しかし本稿では、むしろその共通する部分を敢えて記載した。その共通する部分にこそ、各フ・メンの祈禱の構造を知るための重要な手がかりがあると考えたからである。ここでは、祈禱の全体的な構成とその構成を支える様々な構成要素の構造的な配置の2点から各フ・メンの祈禱を分析してみよう。

5.5.1　祈禱の構造

二人の祈禱の全体的な構成は上の表のように整理することができる。ただし、チャレーとマンリケでは祈禱構成の論理がいくつかの点で異なるため、表にあげた項目を抽出する際の基準は同一ではない。第1に、マンリケは栄唱すなわち「父と子と聖霊のみ名において」を主要な祈りの後で必ず付け加えているのに対し、チャレーは祈禱の最初と最後で行なっているだけである。マンリケにとって祈禱はおそらく複数の祈りから構成されるものであり、栄唱は各祈りの一部分をなすものであると思われる。祈禱全体から見ると、マンリケの祈禱に

おけるカトリックの祈禱がチャレーの祈禱の栄唱部に対応していると言っていいだろう。第2に精霊や聖人・聖母への呼びかけ方の違いがある。チャレーはマヤの精霊やカトリックの聖人・聖母にそれぞれまとめて呼びかけているのに対し、マンリケは主要な祈りの前後にそれらの一部分(たとえば、「すべてのイーク様とすべての聖人様に語る」)を挿入する形を取り、しかもその配置に関する一定の法則は見出せない。それでも、マンリケがそれらを比較的まとめて呼びかけている部分がいくつか存在するため、ここではそれらを独立した項目として立てている。第3に神格に対する御加護の申し立ての仕方が異なっている。たとえば、フェリペは御加護の申し立て人が誰であるかについて祈禱の中で言及しているのだが、雨乞いなど主要な祈りの部分に組み込んでしまっている。しかも、それは1回限りではない。それゆえ、上の表ではその部分だけをチャレーの場合と同じように独立した項目として抽出することはしていない。第4に、チャレーの祈禱のセノーテへの祈りをここでは一つにまとめてしまっているが、これはどの部分が東西南北に該当するのか今のところ特定できていないためで、暫定的に一つにまとめているに過ぎない。あるいは、逆にマンリケの祈禱の方で、東西南北のイークへの祈りを一つにまとめてしまうことも不可能ではないが、この基本方位の神格に対する祈りの間に聖人や聖母に対する祈りが挿入されている部分があるため、上の第2の問題との対応関係を考慮して別個の項目として立てている。

こうした分類の基準の不整合性を無視すれば、上の表ではチャレーの祈禱は単純かつ大まかな分類がなされ、一方でマンリケの祈禱は細部にわたった分類が行なわれているように見えるはずである。実際のところ、チャレーの祈禱は全体の見通しがよく構成がすっきりしているのに対し、マンリケの祈禱は複雑であることもまた事実である。

簡単に言えば、フ・メンは、ある集団が何らかの目的で神の御加護を必要としていること、またその御加護を得るためにその集団はマヤ固有の神格やカトリックの聖人・聖母に供物を捧げていること、さらにはその集団に代わって自分が神々に呼びかけていることを祈禱(スペイン語では rezo、マヤ語では *payal chi'* と呼ばれる)の中で表明する。つまり、フ・メンの祈禱はこれらの「御加護を必要とする(=請う *k'áat*)」、「供える *k'úub*」、「呼びかける(語る *t'aan*、跪く *xolampix*)」という行為を通じて「祈り」を構造化していくプロセスとして生成される。なお、御加護を求める人々はカトリックの信者であるという暗黙の前提で祈禱が行なわれるため、上の表における「信仰の告白」はフ・メンが神

に「呼びかける」上での付帯的な行為として行なわれているものである。それゆえに、ここでは「信仰告白」を祈禱生成における独立のプロセスとはみなしていない。ただ、御加護を求める人々に対して「信仰の告白」を行なわせるような祈禱の構成方法が全く存在しないわけではない。マンリケはサント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャークにおいてこの「信仰告白」を自分以外の誰にも行なわせていないが、コム牧場で行なったヘッツ・ルームの祈禱では同儀礼の主催者に対して「信仰告白」を求めた。サント・ドミンゴ果樹園のチャ・チャークの場合、マンリケ自身が果樹園組合のメンバーであることを考えると、フ・メンのマンリケは御加護を求める集団の「信仰告白」を兼ねたものだったと見ることも実は可能である。しかし、「信仰告白」は朗唱と同様にパフォーマンス上は祈禱の重要な部分を占めるものであるが、「祈り」の構造においては二義的でしかない。あるいは逆に、その「祈り」の総体が巨大な「信仰告白」であると言えるのかも知れない。いずれにせよ、「祈り」を構成する行為が構造化されていく方法の違いによって祈禱全体の構成が異なってくる。言い換えれば、「祈り」の構成要素の構造的配置の違いがそのまま祈禱の構成に反映されることになる。

オノリオ・チャレーは祈禱の冒頭部で目的を説明した後、マヤの精霊やカトリックの聖人・聖母にそれぞれ順番にまとめて語りかける。次にチャ・チャークの責任者たちの名前を挙げ彼らへの祝福を祈願した後、カーカブ(黒き土地)とセノーテに対して語りかける。ここで、オノリオの祈禱は一旦終わる。オノリオは以上の祈禱を祭壇の前に立ったままで行なうが、それが終わるとすぐに祭壇の正面に低い座椅子を置いて座わり、バルチェの入った大きなヒーカラを棒でかき混ぜながら、朗唱と残りの祈禱を行なう。以上の祈禱のパターンは水汲みの祈禱と「料理祭壇」の祈禱とで共通である。しかも、水汲みの祈禱と「料理祭壇」の祈禱の全文を比較すれば一目瞭然であるように、チャレーの祈禱では目的に関する部分が異なるだけで後は基本的に同じである。すなわち、オノリオは祈禱の目的に応じて必要な部分を入れ替える形で祈禱を構成している。

それに対して、マンリケが祈禱で言及する内容はチャレーのものと大方において同じであるにもかかわらず、その言及のスタイルは全く異なっている。マンリケは、チャレーのように供物を捧げ、それを受け取るべき神格に祈ることで許しを請い願うという順序で理路整然と祈禱を組み立てていくというよりも、「神に祈る」という一つの行為およびフレーズを繰り返す中で、そのフレーズの文法的補語の部分に祈りの目的（御加護の申し立て）や方法（場所・時間・

供物）などの情報を付け加えていく。また、彼の祈禱において「請う」、「供える」、「語る」および「跪く」は意味論的にもまた統語論的にも「祈る」の婉曲表現である。つまり、マンリケの祈禱では、「祈る」の補語の部分に挿入される要素の登場順が一応はパターン化されているという意味での順序はあるものの、同じ要素が幾度も繰り返し表われる。結果として、祈禱は全体として螺旋を描いて展開していくといった印象を与えるのである。

ただし、マンリケのこうした基本フレーズの繰り返しによって祈禱を構成していくという方法は彼特有の表現方法ではない。程度の差こそあれ、すべてのフ・メンに共通に見られるものである。オノーリオ・チャレーでさえ "bey bakaan xan kin ki' k'úubik"（我喜びもて差し出さん）というフレーズを中心に祈禱を組み立てている。また、ラブ(Love 1984)が採録したベカンチェンのフ・メンは同様の目的で "way bakaan xan in wa'atal"（我ここで語らん）を、またモンテマヨール (Montemayor 1994) が採録したカンカブ・ツォノットのフ・メンは "kin ki' taal"（我来たりて）を用いている。これらのフレーズは、フ・メンが精霊や聖人に語りかけるという祈禱の基本的な構図の下で、フ・メンが雨乞いなどの祈禱の目的を述べたり、供物を渡すことを宣言するための導入句となっているのである。その意味では、マンリケの祈禱に関する上記の解釈はかなり相対的かつ印象的なものである。

5.5.2　祈禱における構造的代替

次に、この「祈り」の構成要素の構造的配置をもっと詳細に見ておこう。チャレーの祈禱では、文言が同一である部分、また文言に多少の異同はあっても構造的には同じである部分が圧倒的に多い。その中で、同一の構造的位置関係においてフレーズが別のものにそっくり置き換えられている箇所が下の表に示す通り5つだけある。これら5箇所は明らかに祈禱の目的が水汲みにおける安全祈願から雨乞いに変わっていることに対応するものである。

また、この祈禱の目的の違いは *siil óolal*（供物）と *permiisia*（プリミシア）の使い分けにも表われている。オノリオは水汲みを始めるに当たって供えたサカを *siil óolal* と呼ぶ。「料理祭壇」でもサカを供えているためか、「料理祭壇」の祈禱でも *siil óolal*（11, 50）を2回使用している。ただ、*siil óolal* は「供え物をする」という意味の一般動詞にも転用しており、この場合の *siil óolal* は供え物一般と理解することも可能である。しかし、同一内容のフレーズにおいて水汲みの祈禱の *siil óolal* が「料理祭壇」の祈禱では *permiisia* に置き換えられ

構造的代替：フレーズ全文

水汲みの祈禱	料理祭壇の祈禱（チャレー）
9. ... úuch(i)k in máat(i)k (l)e santo suhuy sayab tu káak(a)bi(l) ... 10. Tu káak(a)bi(l) bakáan xan, ti' (l)e San Joseho', pues le bakáan ti' xan u santo siih óola(l), kin ki' k'ubesik xan tu no'ohol u k'ab a ki' ichkelmmi(l), 11. tu'ux bakáan xan tin ki' máat(ah l)e santo sayab ti' (l)e santo permiisiao', u permiisia a (a)h-koolkabilo'ob.	8. ... tu'ux ku ki' ok'ot máat(i)ko'ob u ye'ebil gloria. 9. Tu'ux bakáan xan k bin ki' ok'ot máatik u ye'ebil ka'an tu no'ohol u k'ab a ki'ichkel(e)mi(l). 10. Tu'ux bakáan xan ku ki' lfi(k)sa'a(l) yook (l)e santo suhuy múuyalo'ob tu ti'its ka'an lak'in u ti' no'oh sayab. 11. U ti' bakáan xan ku ki' kóoh(o)l u t'aani(l) tu'ux kin ki' k'ubik le santo sii(l) óolal ku ki' sii(l) óolta'al tu no'ohol u k'ab a ki'ichkel(e)mi(l). 12. Ay, in hahal Dios Ki'ichkelem Yuum, pues le bakáan ti' xan le cuatro santo hets'eb iik'o'ob le ku bin óox haayo'. 13. Yéete(l) bakáan xan le (h)unp'é(el) ti' tu meesíl (l)e táankúuchilo' u santo suhuy soopaíl yéetel u no'ohol [che'il?]. 14. Yéetel bakáan xan u santo suhuy k'óoli(l) ke kin ki' chíikbesik xan tu no'ohol u k'ab a ki'ichkel(e)mi(l).
14. ... tu no'ohol u k'ab bakáan xan le dios cháako', le santo sii(l) óolal(o)' 15. u sii(l) óolil tu'ux ku ki' máate' santo sayab ti' káankab San hoseho'.	17. ... tu no'ohol u k'ab bakáan xan, teech [...] cháako',.
28. ... kin ki' ts'i óolt(ik l)e santo suhuy káakabo'ob 29. tu'ux tin ki' máat(ik l)e santo sayab, u sayab bakáan xan utia('a)l u permiisia ah-koolkaabilo'ob. 30. Pues letie', u santo sii(l) óola(l) xan kin k'ubik tu no'ohol u k'ab a ki'ichkel(e)mil.	33. ... ku ki' chikbesa'al (l)e santo permisiao', 34. tu no'ohol u k'ab bakáan xan a ki'ichke(l)mi(l) yéetel kin ki'iki' óolt(i)k a [...] ah-koolkabilo'ob. 35. Tu'ux bakáan xan k bin ki' ok'o(l) máatik u ye'ebi(l) ka'an, 36. tu'ux k bin ki' ok'ol máatik u ye'ebil Gloria, 37. tu'ux ka ki' [...] tu paach koolo'ob' le ku ki' meyahta'al ah-koolilo'obo'.
55. utia'a(l) bakáan xan tu'ux kin in k'ubik le santo sii(h) óolala'.	65. tu'ux kin ki' k'ubik le santo peimiisia. 66. Le u permisia bakáan xan le a ah-síihsabilo'ob ku ki' sii(l) óo(l)t(i)ko'ob tu no'ohol u k'ab a ki'ichpami(l).
138. (H)unp'é(el) licencia, (h)unp'é(el) permiso xan tu'ux k k'ubik ti' le santo káakab tu no'oh u sáasil ti' le k'iina', tu say(a)bi(l)	174. Le ku ki' sii(l) óo(l)t(i)k a ah-koolkaabilo'obo', 175. tu'ux ku ki' ok'ot máat(i)ko'ob u ye'ebi(l) ka'an, 176. tu'ux u ki' ok'ol máat(i)ko'ob u ye'ebi(l) gloria

ている箇所が4つある（8-9/7-8；118/154；121/157；137/173）。この場合の *permiisia* は明らかに「料理祭壇」で供えられる供物を意味している。また、水汲みの祈禱の方でも *permiisia* が4回登場する（11，29，56，65）が、これらは「料理祭壇」に供える供物もしくはチャ・チャーク儀礼全体を指す言葉として使われている。従って、チャレーの祈禱では *siil óolal* と *permiisia* は構造上等価であり、その使い分けによって祈禱の目的の違いを表現することが可能である。

一方、チャレーの祈禱ではこのように祈禱の意味に影響を与えない、すなわち表現は違っても意味論的には等価の言い換えが行なわれている部分がいくつか存在する。次に挙げるものは、内容は同一でありながら表現が異なっている

構造的代替：同一内容で異なる表現

水汲みの祈禱	料理祭壇の祈禱（チャレー）
16. ... tu'ux bakáan xan kin in ki' *máans cuenta* tu no'ohol u k'ab bakáan xan u ki'ichkelmil Dios.	18. ... tu'ux bakáan xan kin in ki' *k'ubik* tu no'ohol u k'ab bakáan xan u ki'ichkel(e)mi(l) Dios,
41. ... le ku siih óolt(i)k a *h-koolkaabil* tu no'ohol u k'ab a ki'ichkel(e)mil.	51. le ku ki' sii(l) óo(l)t(i)k a *ah-stisabilo'ob* tu no'ohol u k'ab a ki'ichkel(e)mil.
57. Yáax huntúu(l) bakáan xan, in Ki'ichkelem Yuum,	*69. Yáax bakáan xan (h)un túul a ah-stihsabi(l) ku ki' sti(h) óola(l) bakáan xan tu no'ohol u k'ab a ki'ichkel(e)mi(l).*
76. U ti' bakáan xan	*90. Beey bakáan xan ku ki' kóoh(o)l u t'aani(l) tu káak(a)bi(l) bakáan xan*
90. Beey	*106. ..., tu'ux*
97. U ti' bakáan xan ch'e'en cháaltun burro, ti' noh cháaltun burro,	*115. Beey bakáan xan ku ki' kóoh(o)l u t'aani(l) tu káak(a)bi(l) bakáan xan ti'* ch'e'en cháaltun burro, ti' noh cháaltun burro.
99. Beey bakáan xan ku ki' kóoh(o)l u t'aanil tu káak(a)bil bakáan xan	*118. U ti' bakáan xan*
111. Beey bakáan xan ku ki' kóoh(o)l u t'aani(l) tu káak(a)bi(l) bakáan xan ti' ch'e'en ka'ana(l y)ami(l),	131. ... *u ti'* ch'e'en ka'ana(l) amil,
127. *kin payah beh(ti)k* u beel a ki'ichkel(e)mi(l) bakáan.	163. *k ki' ok'o(l) béet(i)k* u beel a ki'ichkel(e)mi(l) bakáan.

もの（イタリック字体部分）である。

この他に次に挙げる例のように、一方では ti' xxx と簡単に表現されているものが、他方では u ti' bakáan xan xxx となっている例が数多く見られる（23-24/26-27；34/42；35/43；38/47；44/55；51/61-62；68/81；71-72/85；73-74/86-88；77-78/91-92；79-80/94；82-83/97-98；84/100；87-88/104；89/105-106；91-93/107-109；94/110-111；95-96/113-114；100/118；104/123；106-107/124-125；108/127；109-110/130-131；112-113/132-133）。

［水汲み］ 46. ... ti' xki'ichpam ko'ole(l) bii(l) Santa Ermita, *ti' xki'ichpam ko'ole(l) bii(l) Santa Rosa.* 47. *U ti' bakáan xan xki'ichpam ko'ole(l) bii(l) Dolorosa,*

［料理祭壇］ 57. ... ti' xki'ichpam ko'ole(l) bii(l) Santa Ermita. 58. *U ti' bakáan xan xki'ichpam ko'ole(l) bii(l) Santa Rosa, ti' xki'ichpam ko'ole(l) bii(l) Dolorosa,*

Bakáan xan は同一構造の文を繰り返すときに、その文の始まりに挿入される成句である。したがって上の例では、聖母の名前を繰り返す中で、水汲みの祈禱では Santa Rosa で文を一旦打ち切り、Dolorosa を次の文に組み入れているのに対し、「料理祭壇」の祈禱の方では Santa Rosa の前で文を終え、Santa Rosa 以降を次の文としている。結果的に、Dolorosa は Santa Rosa の文に組み込まれている。フ・メンの祈禱は仏教のお経のようにある文の固まりを一気に言い終え、短い息継ぎを入れてすぐに次の文の固まりに移っていく。オノリオの祈禱に表われる聖人や聖母、セノーテの名前の順番は常に一定である。しかし、オノーリオに限らずフ・メンは自分の体調に合わせてその時々で息継ぎの場所を変えるため、息継ぎ間の文の長さは一定ではない。結果として、U ti' bakáan xan の入る位置がずれることになる。

また、対応する部分が存在しない箇所（イタリック字体の部分）がいくつか存在するが、これらはチャレーがただ単に言い忘れただけのものであると思われる。

対応するものなし

水汲みの祈禱	料理祭壇の祈禱（チャレー）
21. Beey bakáan xan kin ki' k'ubik u ti' bakáan xan le santo ah-leelem ka'an chaako'ob, u tia'al (l)e ah-tsiimin cháako'ob, u ti' bakáan xan le ah-hóoyabo'ob.	なし（24と25の間）
24. ... le h-noh múulilo'ob. *25. Beey bakáan xan kin ki' k'ubik* u ti' bakáan xan le noh witsilo'ob,	28. ... u ti' le h-noh mooyilo'ob, *[...]* u ti' le yo(l) witsilo'ob.
44. ... ti' xki'ichpam ko'ole(l) bii(l) Candelaria. *45. Beey bakáan xan kin ki' k'ubik u* ti' bakáan xan xki'ichpam ko'ole(l) bii(l) Ma(g)dalena,	55. ... ti' bakáan xan xki'ichpam ko'ole(l) bii(l) Candelaria, *[..]* ti' xki'ichpam ko'ole(l) Ma(g)dalena.
69. Pues,	*82. Be(h)la' bakáan, in hahal Dios, in Ki'ichkelem Yuum,*
72. ... u ti' ch'e'en x-bakab máas, *u ti' ch'e'en San Joachín,* u ti' ch'e'en sak lu'um.	85. ... u ti' ch'e'en pakab máasi(l), *[...]* u ti' ch'e'en sak lu'um.
なし（76の文頭）	*90. Beey bakáan xan ku ki' kóoh(o)l u t'aani(l) tu káak(a)bi(l)*
94. .... u t'aani(l) tu káak(a)bi(l) *[...]* bakáan xan ti' ch'e'en noh Timucuy,	110. ... u t'aani(l) tu káaak(a)bi(l) *bakáaan xan ti' ch'e'en x-ka'ahmati(l).* 111. U ti' bakáan xan ch'e'en noh Timucuy,
97. ... ti' noh cháaltun burro, *ti' ch'e'en x-noh chaayai(l).*	115. ... ti' noh cháaltun burro.
107. ... *[...]* ti' ch'e'en xok miis,	126. *Beey bakáan xan ku ki' kóoh(o)l u t'aani(l) tu káak(a)bi(l) bakáan xan* ti' ch'e'en xok miis,
なし（108と109の間）	*128. Beey bakáan xan ku ki' ... nohoch.*
137. Ay, in Hahal Dios Ki'ichkelem Yuum,	173. Ay, in Hahal Dios Ki'ichkelem Yuum, *señor San Bartolomé, Jesús Nazareno,*

さらには、言い間違えたと思われる部分（イタリック字体）も存在する[56]。

言い間違い

水汲みの祈禱	料理祭壇の祈禱（チャレー）
54. Santa Bárbara, t(u) yiknal a *ki'ich-kel(e)mil* ku ki' kóoh(o)l in t'aan,	64. Santa Bárbara, t(u) yikna(l) bakáan xan a *ki'ichpami(l)* ku kóoh(o)l in t'aan,
89. Beey u suut u ka'ah bakáan xan tu kaax-tik	105. Beey u suut u ka'ah bakáan xan tu *káak(a)bi(l)*
89. ... ti' ch'e'en x-tuulubi(l), ti' ch'e'en *x-oorno,*	105. ... ti' ch'e'en x-tuulubi(l), ti' ch'e'en *x-ho'obi(l).*
なし（108と109の間）	128. *Beey bakáan xan ku ki' ... nohoch.*

言い忘れ、言い間違いのどちらにしても祈禱の構成そのものに影響を与えることはない。それらは単にチャレーの祈禱上のミスに過ぎない。

これに対してマンリケの祈禱では全く同一の文言が用いられている箇所は、スペイン語による祈禱を除くと極めて少ない。祈禱の構造上の配置は同一であっても表現が一定ではない、また祈禱の流れの中での位置関係において前後している箇所さえ見うけられる。フ・メンの祈禱において表現が異なったり該当する箇所が欠落することは、上に示した通りチャレーの祈禱にもかなり見られることである。しかし、マンリケの祈禱における表現の違いや該当部分の欠落はかなり意図的なものである。意図的とは呼ばないにしても、それはかなり場当たり的な表現がもたらした結果である。すなわち、チャレーが聖人や聖母、セノーテに言及するときに文言の同一性に拘らず、むしろ息継ぎの関係でbakaan xanの位置を自由にずらしているのと同じように、マンリケは祈禱全体を通じて表現を気の趣くままに変えている[57]。通常ならば、変化することはあまり考えられない朗唱においてさえ違いが存在しており[58]、文言の可変性はマンリケの祈禱構成方法における大きな特徴であると言えよう。

5.5.3　語られるユカタン・マヤのコスモロジー

フ・メンは祈禱の中で自然（世界）を支配するあらゆる神格に対して語りかける。それは祭壇を中心にした東西南北の二次元的な広がりと地上から天国に至るまでの垂直的な広がりによる三次元的空間に配置された神々の体系への言及であり、そこにユカタン・マヤのコスモロジーが現出することになる。たとえば、『チャン・コム』ではこのコスモロジーは次のように説明されている。地上にはバラムと呼ばれるミルパや村の守護精霊（祈禱の中では *kanan-kakabo'ob* と呼ばれることもある）、森の守護精霊であるクイロー・カーショー

kuilo'ob kaaxo'ob、そして雨の神であるチャークが世界の四隅に住む。そして、垂直的には *ah-hoyabo'ob*（水を撒くもの）と総称されるチャーク、その上にクンク・チャーク、さらにその上には聖ミカエル大天使がいる。

チャレーとマンリケの祈禱においてもこうした神々の空間的配置を垣間見ることができる。しかし、祈禱だけからそれらの正確な位置関係を知ることはできない。それを明らかにするためにはフ・メンに直接尋ねなければならないし、

祈禱で言及される神格

	オノリオ・チャレー	フェリペ・マンリケ
神一般		yuumtsil
主イエス・キリスト	三位一体：Jesús Dios Mehenbiil, Dios Espíritu Santo 主：(in) Hahal Dios Ki'ichkelem Yuum (Ki'ichkelemil Dios) イエス：Jesús Nazareno	三位一体：Dios Padre, Dios Hijo, Dios Espíritu Santo; Dios Yuumbil, Dios Mehenbil, Dios Espíritu Santo; Mehenbiil, Nukuchbiil, Espíritu Santo 主：(in) yuum; Padre (mío); Dios Padre Todopoderoso イエス：Jesucristo
聖人	señor San Miguel Arcangel señor San Bernardino Santos Reyes Tizimín: Gaspar, Melchor, Baltazar señor San Pedro Pablo Yuum Gran Poder de Dios Tres Cruces señor San Bartolomé Jehová señor San Román señor San Felipe señor San Diego señor San Dieguito señor San Isabel señor San Jerónimo Señor de las Ampollas Santo Cristo ti' noh Chumayel Sagrado Corazón de Jesús el Divino Redentor del mundo Santo Cristo de Amor ti' noh chúumuk kaah	San Miguel Arcangel yuum San Bernardino (yuum San Bernardo) Gaspar, Melchor y Baltazar San Pedro Gran Poder de Dios yuum Santa Cruz San Pablo yuum San Vicente caballero San Martín caballero San Eustaquio Buenaventura San Lorenzo San Francsico San Isidro San Antonio San Juan Santiaguito Patrón Santiaguito Apóstol Santiaguito Halachó San Ignacio Angel San Grabiel San Rafael Buenaventura señor San José de las montañas Señor de la Salud

		Señor de las Lluvias Divino Redentor del Mundo yuum santísimo Sacramento (señor Santísimo Sacramento) Niñito Jesús yáalma t'aan Padre Eterno Cuarenta Horas Cabeza Coronado Rogararemos Sagrado Corazón de Jesús Sagrado Corazón de María
聖母マリア	xki'ichpam ko'ole(l) Virgen María xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Guadalupe xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Asuncion xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) de las Estrellas xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Ma(g)dalena xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Santa Rita xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Perpetuo Socorro xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) xtem xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Belem xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) xts'ool xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Concepción xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Candelaria xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Santa Elena xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Natividad xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Santa Ermita xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Santa Rosa xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Dolorosa xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Rosario xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Gertrudis xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Soledad xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) de las Medallas xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) de la Caridad xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) María del Carmen xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Santa Teresa xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Santa Clara xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Santa Ana	xki'ichpam ko'olebi(l) tu kaahi(l) Mamita xki'ichpam ko'olebi(l) Guadalupe xki'ichpam ko'olebi(l) Asunción xki'ichpam ko'olebi(l) Estrella Santa Ma(g)dalena Santa Rita xki'ichpam ko'olebi(l) Perpétuo Socorro xki'ichpam ko'olebi(l) Santa Maria x'ki'ichpam ko'olebi(l) Santa Trinidad Santa Isabel Santa Marta Santa Librada

	xki'ichpam ko'ole(l)bii(l) Santa Bárbara	
イーク・パラム	ah-kalan-koolo'ob	lak'in iik'
	ah-koolalo'ob	xaman iik'
	ah-kalan-xu'uk'o'ob	chiik'in iik'
	siis-kunah-lu'umo'ob	nohol iik'
	siis-kunah-si'intuno'ob	xmoson-iik'o'ob
	ah-ti'ibi(l)-beho'ob	x-aal-k'ab-muuyal-iik'obo'ob
	h-t'u'ulpacho'ob	x-tikin(-ch'aako'ob)
	xtóop'o'ob	x-kilin-ch'aako'ob
	hats'-che'o'ob,	x-aal-k'ab-nok'ol-yoobo'ob
	h-tup-chuun-che'o'	x-yaax-ka'an-iik'obo'ob
	h-noh-múulilo'ob	x-suhuy-iik'o'ob
	noh-witsilo'ob	kanan-áaktun-iik'o'ob
	xhul-chéelilo'ob	otoch-muul-iik'o'ob
	xhul-áaktunilo'ob	(x)kanan-bee(l)-iik'o'ob
	xhul-ts'ono'otilo'ob	(x)kanan-k'áaxo'ob
	noh-moson-iik'o'ob	(x)kanan-corralo'ob
	áak'ab-moson-iik'o'ob	alux-iik'o'ob
	xmíis-beh-iik'o'ob	báalam-iik'o'ob
	xmol-tsohol-iik'o'ob	baatan-iik'o'ob
	sahun-iik'o'ob	chi'iba(l)-iik'o'ob
	ah-yúuyum-ka'an-iik'o'ob	ooxol-iik'ilo'ob
	bolon-iik'o'ob	xyáax-paal-iik'o'ob
	báal(a)mo'ob	xchúumuk-paal-iik'o'ob
	ah-kanulo'ob	xt'uup-paal-iik'o'ob
	ah-peetnilo'ob	yuum-xunáan-iik'o'ob
	ba'alamtunil	yuum-xunáan-balam-kan-iik'
雨の精霊	dios cháak	yuum-cháako'ob
	ah-leelem ka'an chaako'ob	kanan-hóoyabo'ob
	ah-tsiimin cháako'ob	
	ah-hóoyabo'ob.	
場所の精霊	Báakabo'ob	yuum ah-kanan-kaakabo'ob
	Aarkanhelo'ob	yuum báalmo'ob
	Balunban	
	Baanbantuumi(l)	
	ah-kaabilo'ob	
	siis kaabilo'ob	
	kaaba(l) kaabilo'ob	
	máabeno'ob	
	h-kalan-lu'ume'ex	
	h-kalan-ti'itse'ex	
	h-kalan-ti'its-ka'ani(l)	

また祭壇とそれに供えられた供物の配置なども明らかにしなければならない。これらの作業は現時点では済んでいないため、本稿では祈禱の中で言及されている神格を整理するに止めておきたい。

チャ・チャークにおいて祈りの対象となる神格は、カトリックにおける父なる主すなわちイエス・キリスト、諸聖人、聖母マリア、そしてマヤ固有の神々である風や森、大地などの守護精霊たちである。カトリックの神格には通常スペイン語がそのまま用いられるが、父なる主にだけは *yuum* というマヤ語が当てられている。チャレーはこの *yuum* を父なる主にだけしか用いていないが、マンリケは聖人に対する敬称としても用いている。チャレーはこうした目的ではスペイン語の señor を使っている。また、マンリケが祈りを始めるに当たって *yuumtsile'ex*（*yuum* の縮小辞・二人称複数形）とも呼びかけているように、*yuum* はユカタン・マヤ語において神格一般を表わす一般名詞でもある。それゆえ父なる主を言い表わすために、チャレーは *Ki'ichkelem Yuum* を用いる。マンリケはこうした差異化を図っていない。ただ、彼は父なる主と呼びかける場合、常に *in yuum* を用いるのではなく、時折 padre mío に置き換えている。こうした *in yuum* と Padre mío の相互互換的な入れ替えによって、*yuum* が父なる主を指していることを間接的に示している。

祈禱で言及される神格がカトリックの諸聖人（キリストおよび聖母を含む）と、ミルパや森、セノーテの守護精霊などのマヤ古来の自然神である点では、両者の祈禱において語られるコスモロジーに大きな差はない。ところが、両者の祈禱で実際に言及される神格はかなり違っている。この差は実は彼らのコスモロジーを忠実に再現したものではないことに注意しなければならない。チャレーは、世界の東に聖ミカエル大天使、北に聖イシドロ、西に聖ペトロ、南に聖ロケがそれぞれ座しており、洗礼者聖ヨハネがこれらの聖人を統率しているのだ、と世界の見取り図を筆者に説明したことがある。ところが、この宇宙観は祈禱には表われていない[59]。祈禱で語りかけられる聖人や聖母は基本方位的な配置を取りながらも、各方位を司る聖人ではない。むしろそれらは各フ・メンにとってより霊験あらたかとみなされているローカルな聖人である。同じユカタン・マヤとは言え、重要視される聖人・聖母はフ・メンが住んでいる地域によって違ってもおかしくはない。たとえば、マンリケよりもはるかに多くの聖母の名前を挙げているチャレーは、マンリケが最初に語りかけるマミータ村（ママ村の愛称）の聖母に言及していない。これはチャレーがママ村の聖母を信仰する人々の圏内に属していないことを示すものである。また、被聖天の聖

母は両者に共通に登場するが、チャレーとマンリケが想起する聖母はそれぞれ違うはずである。被聖天の聖母はティムクイ村の守護聖母であり、ティムクイ村の人たちにとって数多く存在する被聖天の聖母像の中でも信仰すべきはティムクイ村のものであるはずだ。それに対して、オシュクツカブ村周辺でもっとも信仰されている被聖天の聖母はプストゥニチ村（ティクール村のコミサリーア）のものである。結局、祈禱で言及される聖人・聖母の差はフ・メンが抱くコスモロジーの差というよりは、こうしたフ・メンが所属する生活圏の違いによるものと思われる。

次にマヤの神々に関してであるが、上の表はマヤの神格を暫定的に風、雨、場所の神に大別しただけのものであることを記しておかねばならない。マヤの神格を明確に区分する基準はいまだ一度も示されていないのである。『チャン・コム』ではマヤの神々（*yuumtsil*）はバラム（*balam*）、ク（*ku'*）、チャークの3つからなるという。バラムはミルパや村など人間が直接手を加えたものの守護神である。祈禱の中ではこれらは *kanan kaakab*（カカブの管理人）のようにその機能によって直接的に言及されることもある。クの例としては山もしくは森の神である *ku'ilo'ob k'axo'ob* が唯一挙げられている。これは人間が森を切り開くときに許しを得なければならない神である。最後のチャークは雨の神とされ、通常は世界の端の四隅にそれぞれ一人ずついる。このチャークは祈禱の中では *ah hooyabo'ob*（雨を降らす者）、*pahuatuno'ob*（意味不明）と呼ばれることもあるという。

以上の *yuumtsil* の分類にはイークが入っていない。これは、同書がイークは病気などをもたらす悪い精霊（spirits）であるとして、神（god/*yuumtsil*）とみなしていないことによるものである。本稿で取り上げた祈禱に照してみた場合、『チャン・コム』の分類はネイティブの視点を正しく反映したものとは思われない。それは多分にキリスト教的な視点から行なわれた分類である。一方、マヤの儀礼の歴史的変化を様々な文献から研究したラブは、*yuumtsil* をチャーク、イーク、「森の番人」、バラムの4つに分類している。しかし、これも名称に基づいたカテゴリー化であって、それらを分類するネイティブの基準がそこで示されたわけではない。

ハンクスは、フ・メンの祈禱は精霊と人間の関係を規定するカテゴリー群よりなるという（Hanks 1984：133）。それは裏を返せば、精霊が人間を自然世界に位置づけるための指示物であることを意味する。そうした人間を世界に定位するための指示物としての精霊は、水平的位置、垂直的位置、機能的役割によっ

て特徴づけられる、とハンクスは言う(Ibid.)。チャレーとマンリケの祈禱では精霊の垂直的位置関係が表現されていないので、残りの水平的位置と機能的役割を基準に取れば、チャレーとマンリケの祈禱において言及されるマヤの神々は、(A)ミルパないしは人間の領域に直接接しているもの、(B)雨を降らすもの、そして(C)世界を支配するものに分類できる。第一カテゴリーのほとんどは人間の領域に風(雲)として日常的に現出する神々である。『チャン・コム』においてバラムに分類された神々はそれ自体は風ではないが、風で人々に存在を知らせるという点ではやはりイーク的属性を帯びているし、また何より人間世界(ミルパや村)に直接関わっているという点で、イークと同一カテゴリーに含めることができるはずである。イークとバラムを敢えて別々のカテゴリーに分けなかったのは、このように両者が同一の属性を持つことに加えて、バラムであるはずの *kanan*(管理人)がイークとして、あるいはそれと同列に語られているためでもある。たとえば、マンリケは Kin t'aanik bakaan ti' xaman iik'o'ob, ti' xmoson iik'o'ob, ti' x-suhuy-iik'o'obe', kanan áaktun iik'o'ob. Le otoch muul iik'o'ob, kanan bee(l) iik'o'ob, kanan k'áaxo'obo', kanan corralo'obo', le kanan bee(l) iik'o'ob bakaane', in yuumen.(水祭壇 122-123 番)という具合に kanan をイークとして扱っている。またチャレーも、kin in ki' máans cuenta tu no'ohol u k'ab bakáan xan u ki'ichkelmil Dios. Utia'a(l) bakáan xan le ah-koolalo'ob, utia'a(l) ho' koolalo'ob, utia'al (l)e ah-kalan koolo'ob. U ti' bakáan xan le ah-kalan xu'uk'o'ob, ti' ah-ti'ibi(l) beho'ob, ti' h-t'u'ulpacho'ob, ti' x-tóop'o'ob, ti' hats' che'o'ob.(水汲み 16-18 番)のように、kalan(kanan)をイークと同列に語っている。

チャレーとマンリケの違いは、チャレーがA(水祭壇 16-20/料理祭壇 18-23)、B(水祭壇 21/料理祭壇 24)、C(水祭壇 22/料理祭壇 25)に属す神々をそれぞれ一塊として順番に語りかけていくのに対し、マンリケは各方位に属す ABC をひとつのまとまりとして語っている点である。それゆえチャレーの祈禱では、ＡＢＣは祭壇を中心に円環状に重層的に広がっていく。そして、各カテゴリーの精霊は詳細に述べられる。一方、マンリケの祈禱では一群のイークを祭壇から各基本方位に向けて配置することに重点が置かれ、BC は最低限必要なものに限定されている。この違いは、両者の祭壇に対する視点の違いにも表われている。チャレーは祭壇全体を見下ろすような姿勢で祈禱を行なう。そして、上から東・北・西・南の四隅を順番に指差す。彼にとって祭壇は俯瞰することのできる世界のミニチュアである。これに対してマンリケは祭壇の前に跪き祭壇

の上方を仰ぎ見る。しかも、東・北・西・南に呼びかけるとき、彼は祭壇の四隅ではなく実際の方角を向く。マンリケにとって祭壇は世界の覗き窓のようなものであり、世界の四隅に至るための起点でしかない。実際、マンリケのこうした世界観は「我心より真なる口すなわち聖なるみ台の入り口に語る」(水祭壇66/料理祭壇62)、「聖母マリア様のおわす天国の入り口に跪く」(水祭壇136/料理祭壇78) という祈禱の表現に表われている。マンリケにとって祭壇はチャレーのように上から俯瞰すべきものではなく、下から見上げるべきものなのである。祈禱を唱える際の姿勢の違いは、二人のこうした祭壇に対する視点の違いを反映したものであると言えよう。

このようにマヤ固有の神格に関しても、カトリックの聖人の場合同様にかなりの違いが認められる。この違いはハンクス (Hanks 1984) の見解に従うならば、二人のフ・メンの経験と知識の違いを反映していることになる。しかし、それはそのまま両者が所有するマヤのコスモロジーの違いを示していることにはならない。聖人・聖母における差が個々のフ・メンの生活圏の違いを示すものならば、マヤの神格における差はさしずめフ・メンが祈禱において神々の世界を表現する方法の違いを表わしている。フ・メンの生活圏も、祈禱において語られる神々の世界も、フ・メンが内的心象として所有する世界観も、広義にはいずれもコスモロジーと呼べるものである。ここでそのいずれかを指してユカタン・マヤのコスモロジーと言うのは危険である。特に、祈禱で語られた神々の世界だけをもってしてコスモロジーを再現しても、それはフ・メンの個人的な (およびフ・メンの生活圏を共有する人々の) 世界観と祈禱に対するフ・メンの何らかの意図性によって限定されたものである点を忘れてはならない。

いずれにせよ、ユカタン・マヤ全体でなく一個人のフ・メンに限定したものであっても、そのコスモロジーを知るためには、祈禱で語られる様々な神格の同定とその機能などについてもっと詳細な研究を行なう必要がある。その場合、祭壇に供えられた供物等の分析も併せて行なうべきだろう。こうした作業は筆者の今後の課題としたい。

6　おわりに—チャ・チャーク儀礼研究の展望

筆者は本稿において、比較研究に耐え得る民族誌資料を作成することを目的として2つのチャ・チャーク儀礼を記述してきた。比較研究と言っても、研究者の視点と問題設定によって様々な側面に関する比較が可能である。そうした無数に存在しうる論点のすべてを先取りし、その上で議論すべき問題点や枠組

みを予め設定したりすることはもとより不可能である。しかし、わずかに2つの事例を比較するだけでも、従来暗黙の了解事項とされてきたチャ・チャーク儀礼のいくつかの特徴、たとえば人々の儀礼への参加形態、儀礼の目的、女性の排除などについていかに異なる解釈が可能であり、また必要になってきているかが明らかになった。その意味では、本稿の分析は、チャ・チャーク儀礼に関する伝統的な分析枠組を見直すための1つのモデル・ケースとなったはずである。

今後、地域的な分布を考慮しながら、さらなる事例を付け加えていくことで、本稿では問題とならなかったチャ・チャーク儀礼の新たな側面が見えてくるかもしれない。ただ、チャ・チャーク儀礼を調査する際に、調査者は少なくとも次の点に注意しておく必要があるだろう。

ユカタン・マヤの伝統的な農業が灌漑を天水だけに頼っているという点では、作物の成育段階で雨乞いを行なうことは農業サイクルの重要な一部をなすものである。だが、チャ・チャーク儀礼は農業サイクルの一部である灌漑だけを目的としているわけではない。むしろ、筆者が調査した例ではチャ・チャーク儀礼は農作業全体の成功を意図したものであった。もっと正確に言えば、農作業をめぐる人間と自然（あるいは自然を司る神）との良好な関係の更新を意図したものであった。つまり、チャ・チャークは農作業と不可分に結び付くものではあっても、必ずしも農業サイクルの特定の局面だけに対応しているわけではない。また、それはトウモロコシ栽培を目的としたミルパだけに限定されたものでもない。チャ・チャークはトウモロコシを栽培しない灌漑農地に対しても行なわれるのである。

かつて農作業の様々な局面で行なわれていた農耕儀礼は、今日では大幅に簡素化あるいは省略されつつある。その中でチャ・チャーク儀礼やワヒ・コル儀礼だけが各農業従事者の必要に応じて残される傾向にある。つまり、農耕儀礼が簡略化する中で、それまでいくつかの局面に細分化あるいは特化していた、農作業および農作物をめぐる人間と自然の関係のあり方の表現がチャ・チャークなどのいくつかの儀礼に再編成されつつある。その結果、今日の農耕儀礼は農業サイクルとは完全には呼応しなくなっているのである。

チャ・チャーク儀礼を農業サイクルとの連関において理解しようとする視点は、人間と自然・神との間の契約関係において農業を行なおうとするユカタン・マヤの人々の思考を正確には捉えきれていないように筆者には見える。チャ・チャーク儀礼やワヒ・コル儀礼などは農耕と関連した儀礼ではあっても、災因

論と深く結び付いたものである。そうした儀礼を農業技術とみなすこと（cf. Terán and Rasmussen）は、それらの儀礼の解釈から人々の生活の背景にある疾病観や災厄観、救済観などを切り離してしまう危険性を伴う。切り離されないにしても、ユカタン・マヤはトウモロコシ栽培を主たる生業とするため、その収穫の成否がそのまま彼らの物心両面における日常生活を左右することになる、それゆえに農耕儀礼は治療儀礼としての機能を併せ持つといった解釈がなされるだけである。この経験主義的な解釈は事実の描写であって儀礼の本質を説明したものではない。むしろそうした解釈は、ユカタン・マヤという人々および彼らの生活を焼畑耕作というステレオタイプ化された誤解の中に封じ込めてしまう可能性を孕んでいる、という点で危険でさえあるかもしれない。

チャ・チャーク儀礼は決して灌漑を行う上で積極的な意味での農業技術ではない。それは農作業をめぐる災厄観の間喩的な表現にすぎない。それは場合によって雨乞いであったり、無病息災の祈願であったり、収穫への感謝であったりする。チャ・チャーク儀礼は基本的に、作物の栽培に関わる人々の生活を儀礼義務遂行の成否によって説明するための文化的装置なのである。だとするならば、チャ・チャーク儀礼に関する解釈では、農作業すなわち経済的な活動を構造化する（ネイティブの視点から言えば、それを保証する）世界観こそが問題にされなければならないはずである。特に、災厄として捉えられる人間と自然・神との間の関係性に注目していく必要があるだろう。こうした視点に立ってはじめて、農耕儀礼の統廃合やカトリックの聖人・聖母信仰がチャ・チャーク儀礼に取って代わるという現象も明確に理解できるはずである。

チャ・チャーク儀礼の祈禱では聖人・聖母が常に言及されるし、チャ・チャーク儀礼とは別個に雨乞いを目的とした祈願を個人的に聖人・聖母に対して行なうことも以前から行なわれていた。ところが、今日ではチャ・チャーク儀礼そのものを廃止し、その代わりにノベナやグレミオ gremio などによって純粋にカトリックの祈禱だけを行なうケースが増えている。従来、ユカタン・マヤの宗教的実践においては、儀礼的コンテクストによってマヤの信仰とカトリックの信仰が使い分けられるとされてきた（Redfield & Villa Rojas 1934 ; Rojas 1945）。しかし、今日の宗教的実践を見る限り、同一の儀礼的コンテクストでマヤの信仰とカトリックの信仰が相互互換的に用いられるケースが増えているのである。

鈴木（1989）はこうしたマヤとカトリックの2つの信仰形態間での儀礼の相互互換性を次のように説明する。異なる信仰形態が複数共存する中で人々は主

体的な判断でそのいずれかを選択している。異なる信仰形態でありながら人々がその主体的な選択をお互いに許容しあっているのは、彼らが基本的な宇宙観を共通に認識しているからである。鈴木の視点に立つならば、本稿はこの共有される宇宙観に関してもっと踏み込んだ解釈を行なうことを提案したものである。すなわち、信仰（儀礼）形態の主体的選択は人々の宇宙観が保証する儀礼的構造の相互互換性において説明されなければならない。そうでなければ、ユカタン・マヤの人々にとっての自然・神の位置づけ、さらにはそうした神観念の下での人間存在の意味づけを明確に知ることはできないであろう。チャ・チャーク儀礼は神に対する雨乞いである。人間がどれだけ祈ったところで、雨が降るわけはない。ユカタン・マヤの人々もそんなことは承知の上である。しかし、神が支配する世界ならば、神は雨を降らすこともできるだろう。ユカタン・マヤの人々はチャ・チャーク儀礼によって、そうした神の支配する世界を願い、祈るのである。

注

[28] 北部では数メートルの井戸を掘るだけで水を得ることのできるのに対し、南部では 50 m 以上掘らねばならない。

[29] 当時、オシュクツカブ町では 1995 年の町長選挙の結果をめぐって PRI 派と PAN 派の間で激しい政治紛争が起きていた。チャ・チャークを訪れた町長は同選挙で州選挙管理委員会が最初の集計結果を覆して当選と認めた PRI の候補者である。フ・メンは自称 PRI 支持者であり、一時期この政治抗争にかなり積極的に加わっていた。ただし、フ・メンによる町長らの招待がそうした町内部での政治抗争とどのように関係していたかは不明である。

[30] この儀式そのものはフ・メンと二人の助手だけで行なわれた。

[31] 鈴木(1989)によると、ユカタン州東部のシスビクチェン村では、このチュユブはペテンと呼ばれる。このペテンは雲を、またそこに乗せられるヒーカラのバルチェ酒は雨を象徴するという。『チャン・コム』にも同様の事例が紹介されている（p. 143、注 1）。ティムクイ村では、このチュユブは祭壇の中央ではなく、祭壇から 4 方に向かって張られたかずらの先端、すなわちそのかずらを木に結んだ結び目に計 4 個吊された。

[32] 『チャン・コム』によるとこの作業は *its'ak* と呼ばれるフ・メンの助手の仕事である。サント・ドミンゴのチャ・チャークでこれを行なった人物が

イツァクと呼ばれていたかどうかは確認していないが、フ・メンが祈禱を行なう際に香を焚いたりする助手には別の二人の男性があたった。

[33] サント・ドミンゴ果樹園の人たちは彼らをバラムと呼んだ。

[34] 「水祭壇」の祈禱のテープ起こしと翻訳は筆者自身によるもの。祈禱文中の/(スラッシュ) 記号は息継ぎが行なわれた箇所を示す。

[35] 雷がなるだけで雨を降らせない雲。

[36] 足早に流れる雲。

[37] 「洞穴を守る風」。

[38] 頭上を吹く風。

[39] 森の中の道を守る風。

[40] 「森を守る風」。

[41] 「牧場を守る風」。

[42] ヒョウを降らせる雲。

[43] 「熱い風」。

[44] 「雨を降らせる者」。

[45] 「黒き土地を守る者」。

[46] 早朝に吹く涼しい風。

[47] 「使徒信条」および「主の祈り」の訳文は光明社刊『祈りの手引き』による。

[48] この祈禱文は José Guadalupe Hau Nah (Dzitás 村) がテープ起こししたものに筆者が修正を加えたものである。

[49] 呼びかけの具体的な方法と実際に住民のどれだけにその呼びかけが行なわれているかに関しては未調査。ここで用いた「村全体」という言葉はインフォーマントによるものである。

[50] 灌漑施設は旱魃時にも用いられるが、乾期での使用が中心である。収穫後、樹木を2ヶ月ほど休ませ、その後に集中的に灌漑を行なうことで開花時期を早めることができる。これによってタマウリパス州やベラクルス州など国内の競合生産地よりも早めに青果を出荷することが可能となる。またレモンに関しては、灌漑さえ行なえば1年を通して常に開花・収穫が可能である。いずれにしても、灌漑を行なえば行なう分だけ電気使用料がかかる。つまり、灌漑施設があったとしても、旱魃が続けば続くほどそれは農民の経済的負担となる。

[51] 『チャン・コム』に記されているチャ・チャークが実施されるに至るまで

のプロセスにおいて、まずワヒ・コル（ウ・ハンリ・コル）の義務を果たしていなかった人々たちが個別にそれを行なったというエピソードは、こうしたプリミシア観において説明可能だし、チャ・チャークもそうしたプリミシア観の延長線上に位置するものであることを示している。ただし、チャ・チャークのプリミシア化は、ユカタン・マヤにおける災厄（疾病）観が本来的に精霊を介して自然・農業観と繋がっているために起こりうるものであるにしても、近年におけるユカタン・マヤの人々の農業観の変化に対応したものであることも付言しておく必要がある。かつて、マヤの農民は農作業の各段階毎に精霊に供え物をしていた。しかし今では、それらをまとめて一回で済ます傾向にある、とフェリペ・マンリケは指摘する。つまり、もともとは農作業の各段階において、危険の回避、雨乞い、収穫への感謝などの儀礼は機能的に明確に分けて行なわれていたのが、それらの農耕儀礼が簡略化される中でプリミシアとしてのチャ・チャークなどに一体化する傾向にある。

[52] ユカタン州北西部でピブが全く作られないわけではない。11月の万霊祭には死者を迎える料理としてピブが作られる。

[53] この作業は祭壇の前で行なわれたため、女性は自動的に排除される。

[54] この儀礼の調査者であった筆者は男性であるため、厳密な意味においてはこの記述は真ではない。しかし、ある女性が「女性たちは祭壇の方へ行ってはならない」のだと筆者に説明したことは事実であり、その女性に関する限りこの解釈は真である。

[55] 執筆における時間的なずれから、祈禱文のマヤ語表記法および日本語訳の表現において前編と後編で多少のゆれが生じている。一部の単語における母音の長さの違いや子音の省略は、フ・メンの発音上におけるゆれを表すことを本来意図したものだったが、このゆれを忠実に再現することは非常に難しい作業であると同時に、また結果的に表記上の不統一を生んだ。たとえば、bakan/bakaan/bakáan/、bil/biil/bii(l) など。日本語訳に関しては、同一文章の中でも同一マヤ語に対して異なる語彙や表現を当てた個所がいくつか存在する。本稿の以下の議論では必要がない限り、これらの「ゆれ」に関しては言及しない。

[56] 水汲みの祈禱と料理祭壇の祈禱で言及されるセノーテの名称の違いは表記上の違いであり、フ・メンの言い間違いではない。なお、セノーテの名称の表記は、テープ起こしを行なったベルモント・サーラスの表記をその

まま採用している。

[57] サンティグアールを分析したハンクスは、フ・メンの祈禱は定式化された構造を持ちながら、同時にフ・メンの個人的な経験と知識に基づいた創造性において作り出される個々のプロセスであり、同一のものは存在しないと言う（1990：131）。

[58] Carlos Montemayor の *U Payalchi'ob J-meno'ob.* に採録されている朗唱はマンリケのものである思われるが、これとも同一ではない。

[59] ただし、世界が 4 方位から構成されていること自体は、セノーテへの言及において示される。このセノーテへの言及においてチャレーはその方位にあたる祭壇の隅を指差す。

補足

前編の執筆終了後、オノリオ・チャレーの祈禱文およびその訳文でいくつか修正・補足しておくべき点が見つかったので、ここに付け加えておきたい。

(1) 3．3．1 水汲みの祈禱 57 番中の Yuum José は Don José の誤りである。

(2) 「カヌルの人々」と訳した ah Kanulo'ob は、夜道を歩く時に人々を守ってくれる精霊たち（cf. Villa Rojas 1987 : 290-291）であると思われる。

(3) *peten* は「島」を意味する言葉であるが、祭壇から四方に張られたかずらの先に吊るされたヒーカラが *peten* であるとすれば、「ペテンの人々」と訳した ah Peetnilo'ob は世界の四隅に住むチャークたちを指すものと思われる。

参照文献

Hanks, William F. 1984. Sanctification, Structure, and Experience in a Yucatec Maya Ritual Event. *Journal of American Folklore.* 97 : 131-166.

_____. 1990. *Referential Practice : Language and Lived Space among the Maya.* Chicago : The University of Chicago Press.

光明社 1981.『祈りの手引き』札幌：光明社

Love, Bruce. 1984. Wahil Kol : A Yucatec Maya Agricultural Ceremony. *Estudios de la Cultura Maya.* 15 : 251-300.

_____. 1986. Yucatec Maya Ritual : A Diachronic Perspective. Ph.D.Dissertation, UCLA.

Maas Colli, Hilaria. 1991. La Importancia de las Ceremonias y Prácticas Religiosas en una Comunidad Rural, Sotuta, Yucatán. Informe final de

la investigación. Universidad Autónoma de Yucatán. Centro de Investigaciones Regionales "Dr. Hideyo Noguchi", Unidad de Ciencias Sociales.

Montemayor, Carlos. 1994. *U Payalchi'ob J-meno'ob (Rezos Sacerdotales Mayas). I-II.* Colección Letras Mayas Contemporáneas. No.37-40. México : INI / SEDESOL.

Re Cruz, Alicia. 1996. *The Two Milpas of Chan Kom : Scenarios of a Maya Village Life.* Albany : State University of New York Press.

Redfield, Robert. 1941. *The Folk Culture of Yucatan.* Chicago : The University of Chicago Press.

Redfield, Robert and Villa Rojas, Alfonso. 1934. *Chan Kom : A Maya Village.* Washington : Carnegie Institution of Washington.

鈴木紀 1989.「マヤの四つの祭壇」『季刊民族学』50号，107-114頁.

Terán, Silvia and Christian Rasmussen. 1994. *La Milpa de los Mayas : La Agricultura de los Mayas Prehispánicos y Actuales en el Noreste de Yucatán.* Mérida : Gobierno del Estado de Yucatán.

Villa Rojas, Alfonso. 1987 [1978]. *Los Elegidos de Dios : Etnografía de los Mayas de Quintana Roo.* Serie de Antropología Social. No.56. México : INI.